

Work in Ehime, Live in Ehime

愛媛県内
全17の初期臨床
研修病院を掲載！

愛媛で はたらく、愛媛でくらす

愛媛県臨床研修病院ガイド2023

愛媛県 保健福祉部

社会福祉医療局 医療対策課(医療政策グループ)

〒790-8570 愛媛県松山市一番町4-4-2

TEL 089-912-2449 FAX 089-921-8004

青く澄んだ海、
緑の山々、温暖な気候。
愛媛で地域医療に
貢献しませんか。



愛媛県では、県内 17 の各臨床研修病院を「愛媛県臨床研修病院群」として構成し、「チーム愛媛」として臨床研修医を受け入れる環境整備に取り組んでいます。

17 の臨床研修病院が地域特性に合わせたそれぞれの特徴を活かしながら、連携し、補いあい、協力して、皆さんの臨床研修を支えます。それが「チーム愛媛」の「愛媛県臨床研修病院群」です。専門研修を見据えたキャリア形成をサポートし、臨床研修を通じて、医師としての人格を涵養します。皆さんが末永く活躍されることを心より願っています。愛媛の臨床研修病院一同、皆さんをお待ちしております。

愛媛県
地域医療支援センター長
高田 清式





海を感じながら「はたらく」、 山を臨みながら「くらす」

愛媛県は四国地方では最も人口が多い県。
瀬戸内海、宇和海に面した海岸線の長さは
約 1,700km（全国 5 位）。県下 11 の市は
東温市を除くすべての市が海に面しています。
また、西日本最高峰の石鎚山、
日本三大カルストにも数えられる
四国カルストが雄大に広がります。

医師として、人として、愛媛でその一歩を。

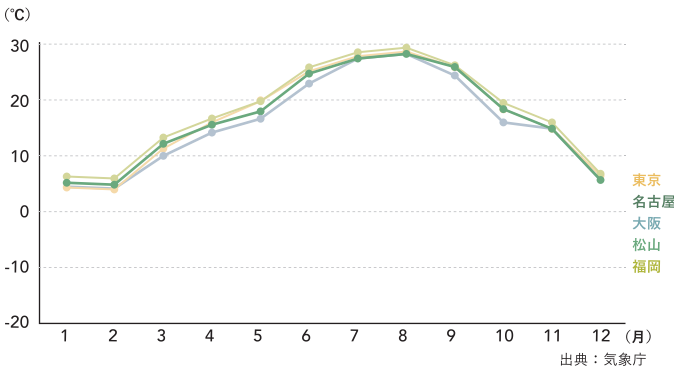


About EHIME

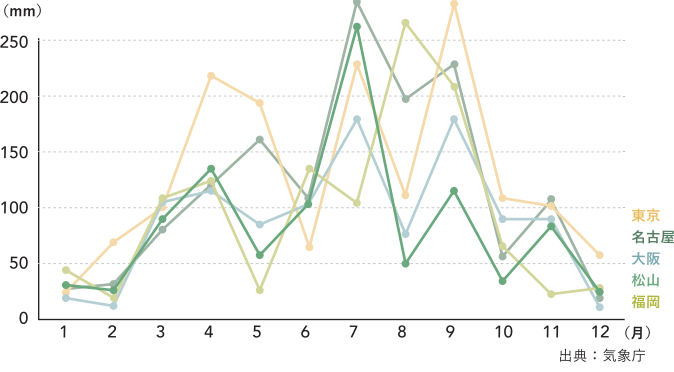
愛媛県の気候、人口について

温暖な気候で暮らしやすく、「住み続けたい街(都道府県)ランキング全国 3 位」！瀬戸内しまなみ海道をはじめとする「愛媛マルゴト自転車道」。目指すはサイクリングパラダイス！また、城下町も多く、夏目漱石、司馬遼太郎などの名作の舞台となっている「歴史と文学の息づく地」。

愛媛県松山市と日本各地の平均気温
年間平均気温（松山）17.3℃



愛媛県松山市と日本各地の年間降水量
年間降水量（松山）1030 mm



愛媛県市別推計人口（上位6市）

松山市	504,220人
今治市	146,090人
新居浜市	112,921人
西条市	101,865人
四国中央市	80,205人
宇和島市	67,170人

出典：愛媛県統計BOX（令和5年3月1日時点）

愛媛県余暇の過ごし方

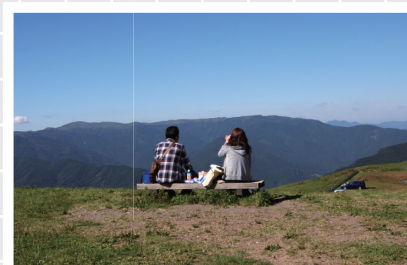
Leisure Time in EHIME

春夏秋冬、季節ごとに
愛媛の余暇の過ごし方を
ご紹介します

登山・トレッキング



西日本最高峰、日本七霊山に数えられるパワースポット石鎚山をはじめ、標高1,700m以上の山々が連なる頂から、天候の良い日には瀬戸内海はもちろん、中国・九州地方の山々まで遠望することができます。草花の息吹を身近に感じ、春の心地よい風が心を解放してくれます。



Spring



「野球拳おどり」や「野球サンバ」の連が街を練り歩く「松山まつり」は、四国四大祭りの1つ。また、今治市民の祭り「おんまく」、宇和島の「うわじま牛鬼祭り」など、愛媛の伝統的な夏祭りや花火大会を県内各所で楽しむことができます。



夏祭り

Summer

愛媛から広島、瀬戸内海に浮かぶ島々をつなぐ、サイクリストの聖地「しまなみ海道」。日本で初めて自転車海峡を横断できるようになったサイクリングロードです。橋の上から望む瀬戸内海のパノラマは感動必須。秋の清々しい潮風に吹かれながらのサイクリングは、体も心もすっきりリフレッシュさせてくれます。



サイクリング

Autumn



湯めぐり



道後温泉周辺のホテルやからくり広場などには、宿泊者以外でも無料で利用できる11の足湯が設けられており、足湯めぐりが楽しめる人気スポットとなっています。また、道後温泉から車で1時間圏内には、奥道後温泉、見奈良天然温泉、媛彦温泉、鈍川温泉、そらとり、たかのご温泉、喜助の湯など多数の温泉があります。寒い冬こそ温泉めぐりをするもよし、温泉で疲れをほぐした後は、周辺の由緒ある神社仏閣や、松山ゆかりの文人・俳人にまつわる句碑をめぐれば、心まで癒やされます。

Winter

EHIME HOSPITAL MAP

CONTENTS

 愛媛県ってどんなところ？

人 口：1,299,576人 ※1
世帯数：599,744世帯 ※1
面 積：5,675.98平方キロメートル(全国第26位) ※2
病院数：134施設 ※3
人口10万対病院数：10.3(全国6.6) ※3
一般診療所数：1,207施設 ※3
人口10万対一般診療所数：91.4(全国80.1) ※3

※1 令和5年3月1日現在 ※2 令和4年10月1日現在 ※3 令和3年10月1日現在
〈出典元〉愛媛県庁サイト・厚生労働省（医療施設(動態)調査・病院報告の概況）



 主要都市へのアクセス

札幌	130分(毎日1往復)
東京	85分(毎日12往復)
成田	95分(毎日2~3往復)
大阪(伊丹)	50分(毎日12往復)
大阪(関西)	50分(毎日1往復)
名古屋(中部国際)	65分(毎日3往復)
福岡	50分(毎日4往復)
鹿児島	60分(毎日1往復)
沖縄	105分(毎日1往復)

〈出典元〉愛媛県庁サイト

東予地区

1	社会医療法人 石川記念会 HITO病院	11
2	独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛労災病院	13
3	一般財団法人 積善会 十全総合病院	15
4	医療法人 住友別子病院	17
5	医療法人 専心会 西条市立周桑病院	19
6	社会医療法人 同心会 西条中央病院	21
7	社会福祉法人 豊田 済生会西条病院	23
8	社会福祉法人 豊田 済生会今治病院	25
9	愛媛県立今治病院	27

中予地区

10	愛媛大学医学部付属病院	31
11	日本赤十字社 松山赤十字病院愛媛	33
12	県立中央病院	35
13	一般財団法人 永頼会 松山市民病院	37
14	社会福祉法人 豊田 済生会松山病院	39
15	愛媛医療生活協同組合 愛媛生協病院	41

南予地区

16	市立八幡浜総合病院	45
17	市立宇和島病院	47

南予地区

エリア 01 | とうよ 東予地区

愛媛県東部に位置し、四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、越智郡（上島町）の5市町からなる地域です。

四国の中央部に位置しており、四国ほか3県と隣接し、しまなみ海道を通じて広島県とも接しています。人口10万人クラスの都市（今治・新居浜・西条市10万人越、四国中央市9万人程）が東西に連なっている点が、四国の他地域には見られない特徴です。製造業が盛んで、製造業出荷額においては四国で一二を争い、ものづくり産業の礎となった別子銅山をはじめ、数多くの産業遺産が残っています。比較的温暖な気候の下、希少生物も生息する雄大で豊かな自然環境を有しています。

HOSPITAL MAP

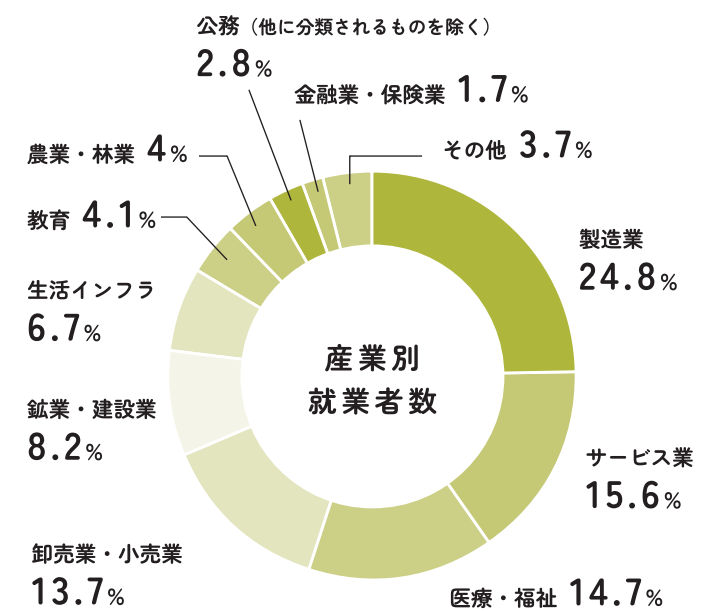


東予地区内医療機関一覧

- 1 社会医療法人 石川記念会 HITO病院
- 2 独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛労災病院
- 3 一般財団法人 積善会 十全総合病院
- 4 医療法人 住友別子病院
- 5 医療法人 専心会 西条市立周桑病院
- 6 社会医療法人 同心会 西条中央病院
- 7 社会福祉法人 済生会 済生会西条病院
- 8 社会福祉法人 済生会 済生会今治病院
- 9 愛媛県立今治病院

東予地区ってどんなところ？

- 構成市町：四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、上島町
- 人口：461,999人
四国中央市 82,849人、新居浜市 116,005人、西条市 104,879人、今治市 151,756人、上島町 6,510人
- 世帯数：203,584世帯
四国中央市 35,731世帯、新居浜市 51,205世帯、西条市 45,170世帯、今治市 68,263世帯、上島町 3,215世帯



※令和2年国勢調査のデータを利用しています。

東予地区おすすめスポット



いしづちさん
石鎚山

国定公園に指定された「石鎚山」は、標高1,982mの西日本最高峰の雲峰。温暖な四国にありながら、頂上付近は、冬には一面の銀世界に包まれます。垂直の岩場を登る鎖場など、トレイルのバリエーションが豊富なのも魅力です。



べっしどうざん
別子銅山

別子銅山は日本で有数の銅鉱山。江戸時代から昭和にかけて200年近く銅の発掘が行われ、約65万tもの銅を産出。日本の近代化にも大きく寄与した天空の産業遺産群はまさに「東洋のマチュピチュ」と言われるにふさわしい絶景です。



すいはこうげん
翠波高原

標高約890mの翠波峰を中心とした約100haの高原。瀬戸内海の島々や四国山脈まで、360度の大パノラマが楽しめます。春には菜の花が黄金色にたなびき、夏から初秋には可憐な早咲きコスモスの花で覆い尽くされます。

社会医療法人石川記念会

HITO病院

〒799-0121 愛媛県四国中央市上分町788番地1
 【TEL】0896-59-6380（人事直通） 【FAX】0896-59-6381
<http://hitomedical.co-site.jp/>

応募連絡先

担当部署： 臨床研修センター（総務・人事・広報課内） 担当者： 鈴木将也
 ✉ info-biz@hito-medical.jp

いきるを支える

地域の「いきるを支える」ため多職種がチーム力を結集。迅速かつ確な救急医療を核に地域ニーズにあった専門性の高い医療を実践している。
 医療現場では全職員へiPhoneを貸与、iPhoneカルテとグループチャットで業務効率化を追求し、多くの時間を患者ケアに充てる。
 病院を中心としたグループ（社会医療法人/医療法人/社会福祉法人で事業所総数40、計900床のグループを形成）全体で予防から急性期、回復期、維持期、慢性期、在宅まで切れ目のない医療・介護・福祉サービスを展開する。
 イベントや啓発事業を通じて地域の方々と顔と顔が見える関係を作り、患者・家族の心も救う身近なグループを目指している。

● 病院データ

病床数	257床	医師数(研修医含む)	52人	初期研修医数	6人	指導医数	20人	外来患者数(1日平均)	250人
入院患者数(1日平均)	220人	救急外来患者数(年間件数)	2,470人	救急車搬送患者数(年間件数)	2,290人	年間手術数	1,500件	病床稼働率	85%

【開設年】 2013年（前身の石川病院は1976年）
 【開設者】 理事長 石川賀代
 【院長】 田中 伸二
 【標榜科】 内科／消化器内科／循環器内科／神経内科／緩和ケア内科
 糖尿病内科／リウマチ科／外科／救急科／乳腺外科
 消化器外科／心臓血管外科／呼吸器外科／肛門外科
 脳神経外科／整形外科／形成外科／美容外科／婦人科
 泌尿器科／耳鼻咽喉科／皮膚科／放射線科／リハビリテーション科
 麻酔科／歯科／精神科



少数の研修体制だからこそ一人ひとりが多くの経験を積むことができる

メッセージ

○理事長



理事長
石川 賀代
(東京女子医科大学卒)

病院というところは、ひと と ひとの繋がりを大切にしながら、満足いただけるサービスを継続的に提供していくことが求められています。そのため私たちスタッフには「時代の変容や病院の新たな取り組みに柔軟に対応できる」ことや、「素直な気持ちでひとに向き合える」ことが重要かと思います。
 これからの医療業界の急激な変化にも耐え得るしなやかな組織を基盤に、皆さんが思い描いている「病院」の枠に収まらないような、新たな取り組みを発信し続けられる病院でありたいと思います。それを実現するには、若い皆さんの力が必要です。まずは病院見学からでかまいません。ぜひ当院にお越しください。素敵なご縁を結べることを願っています。

○指導医・プログラム責任者



総合診療科 部長
臨床研修センター センター長
五十野 博基
(筑波大学卒)

HITO病院は「いきるを支える」がコンセプトです。総合診療科ではエビデンスに基づいた守備範囲の広い診療を、心・脳血管疾患センターでは24時間の超急性期対応を行っています。緩和ケア内科やリハビリテーション科もあり、急性期から回復期、終末期まで、いきるを支える多様な人材が揃っています。また、全職員iPhone活用などのイノベーションを起こし、人の働きやすさにも注力しています。ぜひ私たちの仲間に加わりませんか？

● プログラムの目的・特徴

目的

医師としての総合力を習得するため、高度急性期から在宅医療まで幅広く学ぶことを目的とする。チームやセンターで力を結集し組織横断的に患者の「いきるを支える」ことを学ぶ。患者を「ひとりの人」として向き合う姿勢を持てる人を育てる。
 研修医のキャリアパスにおいて、異なる病床機能や在宅医療に従事できる環境で研修することは、将来自分の専門分野を決定する上で必ずや役立つでしょう。

特徴

- ・少数精鋭の研修体制
定員は年間 3 名(計6 名)。それ故チャンスが多く、各科指導医からマンツーマン以上の指導を受けることが可能。自分のペースでじっくり学ぶスタイルを確立できる。各診療科の垣根が低く、科を問わず多くの上級医師の教えを乞うことができる。気軽に相談できる医師や看護師、メディカルスタッフが多い。研修医も一人の医師として頼られると同時に病院全体で研修医を育てる風土がある。
 - ・ケアミックス型病院
257床の急性期ケアミックス型の病院。幅広い疾患やさまざまな病状の経過時期を横断的に学習できる。他にはあまり無い診療科(緩和ケア内科、美容外科、リハビリテーション科など)に加え、グループ内のクリニックや施設での研修も可能。オールラウンダーである指導医が多い。
 - ・研修を支えるツールの充実
先進的なICTやテクノロジーの活用も当院の特徴である。1人1台iPhoneが支給され、iPhoneからカルテの閲覧・入力、診療情報へのアクセスが可能。グループチャットで1対多のリアルタイムの情報共有ができる。もちろん研修医も1人1台のPCを用意。
- オンオフがはっきりしていることも当院研修の特徴。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科			麻酔科	外科	内科		救急科	内科	小児科	精神科	選択科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	選択科	産婦人科	地域医療	救急科	選択科							

一例として提示、個性のある研修プログラムをオーダーメイドで作成します。

必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内 科	24週以上	地域医療	4週以上
救 急	12週以上	精 神 科	4週以上
外 科	4週以上	選 択 科	40週以上
小 児 科	4週以上		
産婦人科	4週以上		

外部医療機関は下記
 ・愛媛大学医学部附属病院（愛媛県東温市） ・愛媛県立新居浜病院（愛媛県新居浜市）
 ・公立学校共済組合四国中央病院（愛媛県四国中央市） ・医療法人誓生会松風病院（愛媛県四国中央市）
 ・石川ヘルスケアグループ関連施設（愛媛県四国中央市内） ・香川大学医学部附属病院（香川県高松市）
 ・徳島大学医学部附属病院（徳島県徳島市） ・大阪市立総合医療センター（大阪府大阪市）
 ・医療法人社団筑波記念会筑波記念病院（茨城県つくば市） ・北部地区医師会附属病院（沖縄県名護市）

● 募集要項

【予定人数】 3名	【学 会 等】旅費（交通費・宿泊費）支給サポート
【応募締切】 2023年 9月30日	【宿 舎】なし 家賃半額補助あり 引越代サポートあり
【選考試験】 随時、本人希望による、オンライン可能	【院内保育所】あり 3ヶ月～託児可能 22,000円／月
【応募書類】 ①履歴書 ②成績証明書	【休 暇】土曜・日曜・祝祭日
【研修手当】 1年次：約490万円／年 2年次：約770万円／年	里帰り休暇3日（採用6カ月経過後まで）
※賞与込、手当別	有給休暇13日（採用6ヶ月経過後）
時間外手当：法定どおり	【保 険】健康保険、厚生年金 雇用保険 労災保険
宿日直手当：16,500円／回	医師賠償保険（法人負担）
通勤手当：上限24,500円	【そ の 他】サークル活動補助、検診補助
住宅手当：家賃の半額	

○指導医



脳血管内治療科 部長
臨床研修センター
岡本 薫学
(川崎医療福祉大学卒)

医師として新たな人生が始まるにあたり、もうすでに将来の人生設計ができている方から、まだ自分がどのような医療に携わりたいのか悩んでいる方まで様々だと思います。さて、これから求められる人材とは、どのような人材なのでしょう？10年後、20年後の医療を想像し、進むべき道を選択する必要があります。近年、患者さんを総合的に診療できる generalistの育成が重要視されています。初期研修の2年間、基本的知識・技術を身につけることはもちろん大切ですが、患者さんを全人的に診る能力を身につけることも大切な研修ではないでしょうか。「いきるを支える。」私たちのモットーです！一緒にがんばりましょう！



11階レストランはスタッフ同士のコミュニケーションの場としても活用

独立行政法人労働者健康安全機構

愛媛労災病院

〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町13番27号
 [TEL] 0897-33-6191 [FAX] 0897-33-6169
<https://www.ehimeh.johas.go.jp/>

応募連絡先

担当部署：総務課 担当者：野中 保徳
 ✉ shomuka@ehimeh.johas.go.jp

働く人々・地域の人々に信頼される病院に

当院は「働く人々のために、そして地域の人々のために、信頼される医療を目指します」を理念とし、地域の方々から愛され、選ばれる病院として努力しています。診療科は20診療科あり、1. インフォームドコンセントの実践 2. 安全かつ良質な医療の提供 3. 勤労者医療の推進を基本方針として、急性期・回復期医療を中心とした一般診療とともに、地域包括ケア病棟を経由して退院を退院するなど患者や地域のニーズに即した退院支援、また産業医の育成や治療就労両立支援の実践を軸に、コンパクトで地域密着型の診療活動をしています。

● 病院データ

病床数 199床	医師数(研修医含む) 31人	初期研修医数 1人	指導医数 14人	外来患者数(1日平均) 525人
入院患者数(1日平均) 123人	救急外来患者数(年間件数) 2,407人	救急車搬送患者数(年間件数) 767人	年間手術数 1,082件	病床稼働率 71%

[開設年] 昭和31年
 [開設者] 独立行政法人労働者健康安全機構 理事長 有賀 徹
 [院長] 木戸 健司
 [標榜科] 内科／精神科／呼吸器内科／循環器内科／小児科
 外科／消化器外科／整形外科／形成外科／脳神経外科
 心臓血管外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科
 耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科
 麻酔科／歯科口腔外科



研修風景



研修風景



【JR】「新居浜駅」よりタクシーで約10分、瀬戸内バスで約13分
 「住友別子病院前行」または「周桑営業所行」に乗車、
 「労災病院」下車すぐ



● プログラムの目的・特徴

目的

当院プログラムは、地方都市の中核病院として、感冒や貧血などの日常的な疾患から心筋梗塞や肝硬変及び癌などの重篤な疾患まで幅広く経験し、実践に則した臨床経験を積むことを目的としています。

特徴

- ・新生児から老人まで幅広い年齢層の患者に接し、様々な患者心理や病態の諸相を体験できます。
- ・労災病院の特徴を生かし、健康増進のための情報発信や予防医療、労働災害や職業病について体系的に学ぶ機会があり、労働と疾患との関係を習得できます。
- ・医師会認定産業医や医療メディエーター資格の取得を応援します。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急科			内科	小児科	産婦人科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	精神科	地域医療	選択科									

必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内 科※1 救 急 外 科 小児科※3 産婦人科	24週以上 12週以上 4週以上 4週以上 4週以上	地域医療※4 精神科※2 選択研修※5	4週以上 4週以上 40週以上
40週（内科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、リハビリテーション科、救急科、麻酔科）			
※1 内科研修は、愛媛労災病院（20週）、住友別子病院（4週）で履修する。			
※2 精神科研修は、財団新居浜病院で履修する			
※3 小児科及び産婦人科研修は、愛媛県立新居浜病院で履修する。			
※4 地域医療は、愛媛労災病院又は市内診療所で履修する。			
※5 選択研修は、①愛媛労災病院②住友別子病院③愛媛大学医学部附属病院④愛媛県立新居浜病院から選択する。			

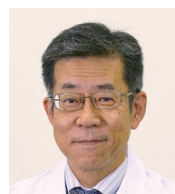
● 募集要項

[予定人数] 2名
 [応募締切] 随時（応募者の希望による日程調整可）
 [選考試験] 面接試験により選考
 [応募書類] ①履歴書 ②卒業（見込）証明書 ③成績証明書
 [研修手当] 1年次：約500万円／年 2年次：約550万円／年
 ※賞与込、手当別
 時間外手当：あり
 宿日直手当：あり
 通勤手当：あり
 住宅手当：上限28,000円
 家族手当：扶養手当あり

[学 会 等] 旅費支給あり
 [宿 舎] あり 病院敷地内に、世帯用・独身用
 （ワンルームマンション形式）あり
 [院内保育所] あり
 [休 暇] 日曜・祝祭日、隔週土曜
 夏季休暇5日、年末年始休暇あり
 有給休暇12日
 [保 険] 健康保険、厚生年金、企業年金、雇用保険、労災保険
 医師賠償保険（個人加入：任意）など
 [そ の 他]

メッセージ

○院長



院長
木戸 健司
（山口大学卒）

当院では「働く人々のため、そして地域の人々のために、信頼される医療を目指します」との理念のもと、20診療科163床で診療活動を行っています。当院は愛媛県の東部に位置する新居浜市にあり、一般診療とともに救急病院としても活動しており、風邪や中耳炎からがん治療まで、さらには交通事故などの救急対応を含めて研修可能です。これらの活動の中で、大学でのベッドサイド学習とは異なる研修環境での診療活動のレベルアップのため、指導医全員ができる限りのお手伝いをしています。私の仕事は皆さんの希望を聞き、診療各科の指導医とを調整し、可能な範囲で希望に応えるよう努力することだと思っています。

研修医

私は、初期研修では将来どの科に進んでも役に立つような基本的なことを研修したいと考えていました。当院の研修では、外来で初診の患者さんを診察したり、病棟で入院患者さんの主治医を務めることで、医師の仕事の基本を日々研修させてもらっています。当院は決して大きな病院ではありませんが、愛媛県東予地方の医療圏で大きな役割を担っており、プライマリ・ケアはもちろん高度な医療にも触れられます。当院の初期研修プログラムの特徴は、自由度が高いところだと思います。また、希望の診療科を選べることはもちろん、研修期間も自分で決められ、当院にない診療科での研修も、新居浜市内にある他の病院で行えます。



課外活動（西条リレーマラソン）



愛媛労災病院
マスコットキャラクター
AIRO（あいろ）ちゃん

一般財団法人積善会

十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
 [TEL] 0897-33-1818 [FAX] 0897-37-2124
<https://jyuzen.jp/>

応募連絡先

担当部署・担当者：総務課 矢野定宏、教育研修推進室 坪本秀美
 ✉ jyuzen@jyuzen.jp

私達は院是「誠」の医療を推進いたします。

十全総合病院は、新居浜市中央部にある地域密着型の総合病院です。安全で安心できる医療を提供し、地域住民の健康を守るために日々力を尽くしています。
 財団名の積善は、易経に説く「積善の家には必ず余慶あり」から引用しており、病や怪我で困った方々へ分け隔てなくできうる最善を尽くすことをモットーにしています。
 グループ内の関連施設や地域の医療・福祉施設、高度医療を担う拠点病院と連携し、東予地区の地域包括ケアシステムの重要な基点となっています。
 また、財団内の看護師養成所、理学療法士・作業療法士をはじめとして、多くの学生実習を受け入れ、医療に携わる優秀な人材を増やすことにも力を注いでいます。

● 病院データ

 病床数 350床	 医師数(研修医含む) 24人	 初期研修医数 4人	 指導医数 10人	 外来患者数(1日平均) 439人
 入院患者数(1日平均) 210人	 救急外来患者数(年間件数) 2,219人	 救急車搬送患者数(年間件数) 1,343人	 年間手術数 924件	 病床稼働率 82%

[開設年] 昭和44年
 [開設者] 一般財団法人積善会 理事長 松尾嘉禮
 [院長] 中村 寿
 [標榜科] 内科／精神科／神経科／呼吸器科／胃腸科／循環器科
 小児科／外科／整形外科／形成外科／脳神経外科
 小児外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科
 耳鼻咽喉科／放射線科／リハビリテーション科
 血管外科／麻酔科／歯科／歯科口腔外科／脳神経内科



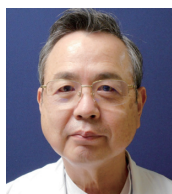
外来中待合



多職種合同の新規入職者研修

メッセージ

○院長



院長
中村 寿
(愛媛大学卒)

当院は新居浜西条医療圏域で年間千件余りの救急車を受け入れ二次救急を担うケアミックス病院です。多くの診療科にベテランの専門医が常勤医として在籍していますので、対応する疾患は多岐にわたります。急性期から慢性期までのいろいろなフェーズの患者さんがおられますし、地域密着型の病院ですのでcommon diseaseに対応する機会も多く、初期研修であくせくせずに経験を積むには最適の環境です。医局の雰囲気は和気藹々として診療科の垣根なく誰にでも気軽に相談できます。医師以外のスタッフもとてもフレンドリーで研修医をサポートしてくれます。病院見学にも随時対応していますので、是非当院の雰囲気を体験しに来てください。

○指導医・プログラム責任者



副院長
プログラム責任者
太田 和美
(岡山大学卒)

十全総合病院の基本方針のひとつは、地域に根差して安心できる医療を地域住民に提供することです。そのために救急医療に力を入れており、時間内外を問わず積極的に救急車を受け入れています。そのような中で、研修医は1年目から多くの救急診療を経験することで診断能力を身につけ、どの診療科でも必要な基本的手技をしっかりと学ぶことが可能となっています。医局は開放的で理事長から研修医まで一緒に食事をしたりする中で、誰にでも気軽にさまざまなことを相談することができる場となっています。険しい四国山地と穏やかな瀬戸内海にはさまれた自然環境、やさしく思いやりのあるスタッフの中で有意義な初期研修ができることをお約束いたします。

● プログラムの目的・特徴

目的

少子高齢社会、医療環境の複雑化、患者さんのニーズの多様化などに柔軟に対応するために、基本となる医学・医療の知識・技術の確実に身に付けます。合わせて、医師としての役割・責任感・思いやりと温かみのある人間性を身につけ、患者さんや家族・医療福祉関係者とのコミュニケーションがとれ、患者さん中心の全人的医療を行える最高の医療人の育成を目指します。

特徴

- 1. 初期研修にジャストサイズの病院**
 Commonな症例が豊富な当院での研修と、当院で経験が難しい内容をカバーできる協力病院での研修を組み合わせることで、ガイドラインに定められた必修項目は余裕でクリアできます。
 3名定員で研修医はすぐに顔と名前を覚えてもらえます。医師をはじめメディカルスタッフが研修に協力的で、病院内の情報を把握しやすく、症例や手技の経験がしやすい環境にあります。
- 2. 一人一人の研修スケジュールをオーダーメイド**
 スケジュールの自由度が高く、個々の研修医の希望に沿ったスケジュール調整をしています。「手技・症例を徹底して学びたい」「将来進みたい診療科で実践的な医療知識・技術の経験をしたい」「当直を数多くこなしたい」「3次救急でしっかり経験したい」「介護施設も経験したい」「在宅医療も見てみたい」「ガツガツ学びたい」「マイペースで学びたい」など相談しながら研修スケジュールを組みなおしていきます。
- 3. 無理のない研修体制と充実した勤務条件で、ワークライフバランスもバッチリ**
 当直業務は基本的手技を習得した2年目の開始を原則としています。(希望があれば1年目からでもOK)

● 研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(必修)						外科(必修)	精神科(必修)	産婦人科(必修)	選択科		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次	救急科(必修)			選択科		小児科(必修)	地域医療(必修)	選択科				
	*内科必修研修(28週)期間中に麻酔科で挿管等の研修を行う。また一般外来研修を並行して実施する。 *選択科は4週単位で選択可能。											

必修分野			その他の分野及び選択研修など
内科	28週	地域医療	4週
救急	12週	精神科	4週
外科	4週		
小児科	4週		
産婦人科	4週		

①基幹型臨床研修病院での研修期間は52週以上必要
 ②臨床研修協力施設での研修期間は最大12週
 ③一般外来研修は内科、地域医療研修で実施し、不足する場合は外科、小児科、選択内科で補完する。
 ④内科必修研修28週のうち4週を限度に麻酔科による気管挿管を含む気道管理及び呼吸管理、急性期の輸液・輸血療法並びに血行動態管理法についての研修を含む
 ⑤地域保健として2週間西条保健所での研修が可能

● 募集要項

[予定人数] 3名	[学 会 等] あり 全国・地方学会各1回、研修会2回支給あり(発表の場合は制限なし)
[応募締切] 令和5年8月19日(土)	[宿 舎] なし
[選考試験] 令和5年8月22日(火)以降で個別に設定	[休 暇] 日曜・祝祭日、隔週土曜 地方祭 夏季休暇3日、年末年始休暇あり
[応募書類] ①令和6年度開始 医師卒後臨床研修申込書 ②履歴書 ③卒業証明書または卒業見込証明書 ④成績証明書 1年次：約653万円／年 2年次：約696万円／年	有給休暇1年次10日、2年次11日
[研修手当] ※賞与込、手当別 時間外手当：あり 宿日直手当：あり 当直手当22,500円 通勤手当：あり(2km以上) 住宅手当：あり 55,000円まで支給	[保 険] 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険 医師賠償保険は個人加入(任意)
	[そ の 他]

○3人の1年目研修医が感じるプログラムの魅力をお伝えします。



研修医 2年目
森 太一
(旭川医科大学卒)



1年目
貫田 晃広
(神戸大学卒)



1年目
得居 省汰
(愛媛大学卒)



1年目
吉田 匠悟
(高知大学卒)

①早い段階から外来研修を経験できる
 4月からサポートを受けて外来診療に挑戦し、5月に独り立ち。もちろんすぐに相談できる体制があります。
 ②研修内容の自由度が高い
 自由選択期間が多く、個々の進路を踏まえて柔軟に研修計画が立てられる。今年入職の研修医3名はそれぞれ自分の理想に近い予定を立てられています。
 ③病院にいる全員が親切で優しい
 医師から病棟スタッフ、事務方さんまで非常に親切に対応してくれるので安心して研修医生活を送っています。

①自由度が高い
 その時に回っていない科の症例でも関わる事が可能。各科の垣根が低く患者の情報が共有されやすい。したいことに可能な限り協力してくれる。
 ②待遇に恵まれている
 ③自立できる環境に身をおける
 チャレンジとフィードバックで自信につながり成長ができる環境です。

①好きなことを好きにだけという差し支えない自由度の高い研修が可能です。
 ②多くの先生の指導を一心に受けることができる恵まれた環境で、症例や手技の機会は有名病院と比較しても遜色なく(むしろ多く?)チャンスがある
 ③診療科が細分化されていないので横断的な学習機会が得られる。

医療法人

住友別子病院

〒792-8543 愛媛県新居浜市王子町3番1号
 [TEL] 0897-37-7111 [FAX] 0897-37-7121
<https://sbh.gr.jp/index.php>

応募連絡先

担当部署：臨床研修センター 担当者：三崎 博
 ✉ hirosi_misaki@ni.sbh.gr.jp

上級医とも良好なコミュニケーション

当院は、1883年5月に住友家が経営する別子銅山の従業者を診療する施設として愛媛県で初めて設立を許可された病院で、2009年には企業立病院から医療法人へ移行した。また、地域の中核病院として地域貢献を果たすべく2016年10月には新病院を開設し、救急機能の強化および地域がん診療連携拠点病院として医療機能の向上を図っている。研修面においては、「研修医のスキルアップを最優先に」をスローガンに、見学でなく多くの症例を実践することで基本的な知識・技術を修得できる体制を整えており、熱意のある指導医が教育を担当している。

● 病院データ

 病床数 360床	 医師数(研修医含む) 64人	 初期研修医数 7人	 指導医数 12人	 外来患者数(1日平均) 834人
 入院患者数(1日平均) 299人	 救急外来患者数(年間件数) 5,457人	 救急車搬送患者数(年間件数) 2,764人	 年間手術数 5,805件	 病床稼働率 83%

[開設年] 平成21年4月1日
 [開設者] 理事長 鈴木誠祐
 [院長] 鈴木 誠祐
 [標榜科] 内科／呼吸器内科／消化器内科／腎臓内科／循環器内科／糖尿病内科
 内科(人工透析)／腫瘍内科／精神科／神経内科／小児科／外科／消化器外科
 乳腺・内分泌外科／腫瘍外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／皮膚科
 泌尿器科／泌尿器科(人工透析)／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／放射線診断科
 腫瘍放射線科／麻酔科／リハビリテーション科／歯科口腔外科／病理診断科
 緩和ケア科



JR新居浜駅よりバスで約15分
 またはタクシーで約10分



研修風景(手術室)

メッセージ

○院長(理事長)

初期の研修において、すべての研修医が全人的で科学的根拠に基づいた医療を実践し、プライマリ・ケアを中心に医師として必要な基本的診療能力を身に付け、人格を涵養することを研修プログラムの目的としています。また、基本的診療能力に加えて、高度先進医療を担う専門医を育成することも社会的に要請されていますが、当院ではその医療施設・環境は十分に整っています。前向きでやる気のある研修医は大歓迎です。

院長(理事長) 鈴木 誠祐(岡山大学卒)

○指導医・プログラム責任者

当院は、救急機能の強化と地域がん診療拠点病院としての診療機能の向上に取り組んでいます。そのために必要なインフラを充実すべく、平成28年に新病院を開設しフラッグシップの医療機器を整備しました。研修医教育に関しても、従来のプライマリ・ケア技能の修練に併せて、正確なトリアージ能力を習得できるように画像診断教育に力を入れており、その環境は整ったと考えています。

臨床研修センター長 加藤 勤(関西医科大学卒)

● プログラムの目的・特徴

目的

研修のポリシーとしては、診断における正確なトリアージ能力の取得と豊富なプライマリ・ケア技能の修練に重点をおいています。特に、トリアージに欠かせない画像診断教育に力を入れているのが特徴と考えています。また、前期研修から後期研修から始まる新専門医制度を意識した自由度の高いプログラム設定が可能です。

特徴

要望に沿った柔軟なカリキュラムの設定
 ①自分の興味のある分野の知識や技術を重点的に習得するため長期間の選択科を選択することができます。
 ②確実な臨床手技の習得
 症例数に対して研修医の数が少なく、選択科の研修期間を長くできるため、希望する手技(挿管・手術・内視鏡・IVR等)を豊富に経験することが可能です。
 ③画像診断の特別研修(希望時)
 画像診断装置が充実しており、指導を担当する放射線診断専門医が4名常勤しています。また、院内カンファレンス(外科術前カンファレンス・肝臓カンファレンスなど)も多いことから、希望に沿った画像診断の修練が可能です。
 ④研究発表(希望時)
 論理的な思考過程を訓練する上で研究発表は有用であるとの見地から、希望があれば研究発表に対する指導・支援する体制を整えています。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	救急(当院)			内科(当院24週)				外科(当院4週)		小児科(外部4週)	産婦人科(外部4週)	精神科(外部4週) ^{※1}
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療(外部4週) ^{※2}											

必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内科	21週以上	地域医療	4週以上
救急	12週以上	精神科	4週以上
外科	4週以上		
小児科	4週以上		
産婦人科	4週以上		

※1 精神科は「十全ユリノキ病院」「財団新居浜病院」の2施設から選択し、4週間履修する。
 ※2 地域医療は「岩崎病院」「阿部内科クリニック」の2施設から選択し、4週間履修する。
 ※3 選択研修では上記の診療科に加え、「愛媛大学医学部附属病院」「西条保健所」「王子苑」から選択し研修する。

● 募集要項

[予定人数] 4名
 [応募締切] 定員に達するまで
 [選考試験] 令和5年8月
 [応募書類] ①履歴書 ②卒業見込み証明書 ③成績証明書
 [研修手当] 1年次：約680万円／年 2年次：約790万円／年
 ※賞与込、手当別
 時間外手当：あり
 宿日直手当：あり
 通勤手当：あり
 住宅手当：あり 家賃の半額(上限34,000円)
 家族手当：あり

[学会等] 旅費支給あり
 [宿舎] あり
 [院内保育所] あり
 [休暇] 土曜・日曜・祝祭日 夏季休暇あり
 有給休暇11日(採用6ヶ月経過後)
 [保険] 健康保険、厚生年金 雇用保険 労災保険
 医師賠償保険(個人加入：任意)など
 [その他]

○研修医

当院を選んだ理由は主体性を尊重する病院であると感じたからです。動脈穿刺、CVC、基本的な外科手技など多くの手技を経験でき、指導医の先生方に確かなフィードバックをしていただくことにより、反復することの重要性を学ぶ機会にも恵まれています。また、各科の垣根が低いことにより、一つの考え方にとらわれず非常に多面的な思考過程を養うこともできます。当直では研修医がファーストタッチを行うことで、診断能力を鍛え上げ、primary careを日々修練することができます。自分の思考過程や実際に行った初期対応を上級医の先生方に意見していただくことで反省点などを振り返り、次の診療に活かしています。



研修風景(内視鏡室)

西条市立周桑病院

〒799-1341 愛媛県西条市壬生川 131
 [TEL] 0898-64-2630 [FAX] 0898-65-5503
<http://www.shuso-hospital.jp/>

応募連絡先

担当部署：総務課 担当者：鎌田
 ✉ somu@shuso-hospital.jp

よりよい医療サービスを目指して

西条市立周桑病院は、患者さんの視点に立った人に優しい病院、信頼される病院、地域に貢献する病院を目指します。



【JR】 壬生川駅より徒歩 15 分
 【JR】 壬生川駅より車で 3 分
 【バス】 周桑病院前 徒歩 1 分
 【車】 東予丹原インターから約 5 分



● 病院データ

 病床数 185 床	 医師数(研修医含む) 15 人	 初期研修医数 3 人	 指導医数 8 人	 外来患者数 (1日平均) 206 人
 入院患者数 (1日平均) 78 人	 救急外来患者数 (年間件数) 1,027 人	 救急車搬送患者数 (年間件数) 821 人	 年間手術数 82 件	 病床稼働率 73%

〔開設年〕 昭和13年
 〔開設者〕 西条市長 玉井 敏久
 〔院長〕 雁木 淳一
 〔標榜科〕 内科／外科／循環器内科／産婦人科／脳神経外科
 泌尿器科／皮膚科／眼科／放射線科／肛門外科
 整形外科



研修風景



グラム染色研修風景

メッセージ

○院長



院長
 雁木 淳一
 (岡山大学卒)

地域に密着した病院で、一般基礎臨床をしっかり身に付けたい方に最適です。
 診療科間の垣根もなく、大変アットホームな雰囲気の中で研修を行えるのも当院の特徴です。比較的小規模な規模の病院ではありますが、その分、医師はじめメディカルなども指導に力を入れており、密度の濃い研修が可能です。

○指導医・プログラム責任者



臨床研修プログラム
 責任者
 八木 大
 (愛媛大学卒)

中小規模病院における急性期・終末期・予防医療・地域包括医療や多くの症例を学べる病院です。
 コメディカルの協力体制が極めて良好、教育・サポート対応も万全です。少人数での研修を希望される方には自分のペースやスケジュールで行えるのが魅力です。福利厚生も充実しております。

● プログラムの目的・特徴

目的

1. 総合的な電子カルテシステムによる迅速・正確多彩なデータの集積等の活用技術を得得
2. 環境的に救急医療の拠点病院であり、実践的・基本技術の習得が可能
3. チーム医療におけるコメディカルとの協調の習慣を習得
4. 地域包括医療を理解し、実践的技能を得得

特徴

当院の研修では、早い時期よりルート確保、腹部エコー検査などの技術習得ができるよう病院全体で研修医をバックアップする体制がある。そのため、コメディカルや他科の医師との垣根がなく、居心地の良い研修が可能である。また、救急医療をはじめとしたすべての症例に通年で携われるため、救急時の対応で焦ることなく取り組めるようになる。
 研修医の希望があれば、大学・協力病院等での研修も可能である。研修プログラムは上級医のアドバイスを常に受けられ、充実したプログラムとなっている。研修医が少数のため、柔軟に本人希望の研修対応が行える。

● 研修スケジュール

1年次	1～24週		25～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
	内 科 当 院		救急科 当 院	外 科 当 院	小児科	産婦人科	精神科 外部医療機関
2年次	1～8週	9～12週	13～52週				
	地域医療 外部医療機関	在宅医療 当 院	選択医療 当院又は外部医療機関				

必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内 科	24週以上	地域医療	8週以上
救 急	12週以上	精 神 科 ^{※3}	4週以上
外 科	4週以上	在宅医療 ^{※4}	4週以上
小 児 科 ^{※1}	4週以上		
産婦人科 ^{※2}	4週以上		

※1：小児科「愛媛大学医学部附属病院」「西条中央病院」「済生会今治病院」の3病院から選択し、4週間履修する。
 ※2：産婦人科「愛媛大学医学部附属病院」「西条中央病院」の2病院から選択し、4週間履修する。
 ※3：精神科「西条道前病院」にて、4週間履修する。
 ※4：地域医療「済生会西条病院」にて、8週間履修する。

● 募集要項

〔予定人数〕 2名	〔学 会 等〕 参加可能、旅費支給
〔応募締切〕 随時	〔宿 舎〕 なし
〔選考試験〕 面接等	〔院内保育所〕 あり 病後児保育所完備(急病時も安心です)
〔応募書類〕 履歴書 卒業証明書又は卒業見込証明書	〔休 暇〕 土曜・日曜・祝祭日 年末年始休暇あり 有給休暇10日(採用6ヶ月経過後) リフレッシュ休暇あり
〔研修手当〕 1年次：約672万円／年 2年次：約700万円／年 時間外手当：あり 宿日直手当：当院規程により支給あり 通勤手当：当院規程により支給あり 住宅手当：あり 借上げ住宅(全額負担)	〔保 険〕 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険 医師賠償保険
	〔そ の 他〕

○研修医



初期研修医
 2 年次
 奥本 美里
 (和歌山県立医科大学卒)

私は、子育てをしながら研修をしています。当院で研修をする上で一番助かっていることは、病院敷地内に院内託児所と病児・病後児保育施設があることです。子供の急な発熱や体調不良時に、すぐに対処できます。研修中に妊娠や出産を考えている方は、ぜひ一度病院見学に来てください。また、当院は地域に密着しているため、様々な方が外来に来ます。Common disease から重症例までのファーストタッチを経験することができます。アットホームな環境なので、他科の先生や他の医療専門職の方々からも多くのことを学ぶことができる魅力的な施設です。



医局内での自主研修風景



カンファレンス風景

社会医療法人 同心会

西条中央病院

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市 804 番地
 [TEL] 0897-56-0300 [FAX] 0897-56-0301
<http://www.saijo-c-hospital.jp/>

応募連絡先

担当部署：臨床研修管理室 担当者：眞鍋
 ✉ kenshu@saijo-c-hospital.jp

急性期医療を中心に予防・慢性期医療まで

1954年4月に財団法人倉敷中央病院分院として西条市に設立された総合病院である。開院当初より地域の中核病院として根付いており、現在では人口約11万人の西条市において、2次救急病院であるとともに、市内唯一の小児2次救急病院および産婦人科の入院施設を有する病院である。2015年12月1日より新病院棟での診療を開始し、2016年度より基幹型1期生2名を迎え研修を開始している。新病院棟での急性期医療のみならず、透析・リハビリテーション棟での診療業務、慢性期医療に加え、人間ドックなどの健診事業も活発である。愛媛大学医学部附属病院の協力型研修病院としても受け入れ実績を重ねている。

● 病院データ

 病床数 242床	 医師数(研修医含む) 32人	 初期研修医数 3人	 指導医数 17人	 外来患者数(1日平均) 362人
 入院患者数(1日平均) 192人	 救急外来患者数(年間件数) 4,374人	 救急車搬送患者数(年間件数) 1,678人	 年間手術数 712件	 病床稼働率 82%

[開設年] 昭和29年
 [開設者] 理事長 伊藤 正明
 [院長] 風谷 幸男
 [標榜科] 内科／循環器内科／小児科／外科／整形外科／産婦人科
 眼科／麻酔科／放射線科／耳鼻咽喉科／歯科



循環器内科研修の様子



臨床研修メンバー

メッセージ

○院長



院長
風谷 幸男
(愛媛大学卒)

医療は奥深く多様性に富んでいます。広い見識を持つ医師になるためには、日常診療と救急医療、急性期医療と終末期医療、専門医療と地域医療など、質の異なる医療を知ることが重要です。当院は西条市の基幹病院であり、救急医療と専門医療を担うとともに、地域の医療ニーズに応えるため様々な医療を提供しています。当院の指導法には定評があり、マンツーマンで実践的指導を行っています。垣根を超えた診療体制により幅広い知識と技術が習得できます。救急研修のため2か月間倉敷中央病院に派遣します。優れた指導医のもと基本をしっかり習得した上で多様な医療に接し、医療人としての質を高めてください。そのための準備をしてお待ちしています。

○指導医・プログラム責任者



副院長
小野 仁志
(鳥取大学卒)

当院の基幹型初期研修1期生2名、2期生2名、3期生3名、4期生1名、5期生1名、6期生3名が、研修を終了し、専門医、専攻医となっております。2022年度7期生1名、2023年度8期生2名の初期研修医が入職し、積極的に研修を行っています。病院職員一同、研修医を応援するウェルカムの姿勢で迎えております。2017年に研修医室を新設し、快適な研修生活が送れるよう工夫しております。西条市は、石鎚山や燧灘に囲まれた環境の良い住みやすい街です。ぜひ、病院見学にいらしてください。

● プログラムの目的・特徴

目的

基本的診療能力を身につける。

すべての臨床研修期間において、研修医が倫理的、科学的根拠に基づいた医療を実践し、プライマリ・ケアを中心とした基本的診療能力を身につけることを目的としています。また、自ら考え、自ら動くことができる研修医の育成を目指し、多様な手技を実践する研修を行っています。

特徴

アットホームな雰囲気ですストレスなく研修できる。

急性期を中心に亜急性期(地域包括ケア)や障がい者など慢性期の患者さんに対する、疾患の状態に応じたきめ細かい医療を研修することができる地域中核病院です。2年目の選択科の履修期間が比較的長く、専門医研修に向けてスケジュールを組むことができます。2年目のスケジュールは、1年目11月頃にプログラム責任者と相談しながら決めます。1年目の必修科目の外科、小児科、産婦人科研修を当院で行います。1年目の救急研修に麻酔科研修4週間、整形外科研修4週間を含んでいます。2年目に年間約1万台の救急搬送がある倉敷中央病院救急科でER型研修を行います。(西条中央病院は現在、倉敷中央病院より独立した社会医療法人ですが、昭和29年倉敷中央病院西条分院でスタートした歴史があります。)放射線科研修が、内科研修の一環として必修研修に含まれています。(画像診断能力の高い研修医となれます。)レジデント外来(初期研修医の一般外来研修)を行います。院内トリアージ後、ファーストタッチで1年目より研修医が診察します。困ったり、相談したい場合に備えて、指導医あるいは外来担当医が診療面をバックアップします。

● 研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(24週)					救急科(8週)		外科(4週)	一般外来(4週)	精神科(4週) ^{※1}	小児科(4週)	産婦人科(4週)
	当院								外部医療機関		当院	
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	選択科	地域医療 ^{※2}	救急部門 ^{※3}	選択科 ^{※4}								
	当院	外部医療機関	外部医療機関	当院又は外部医療機関								

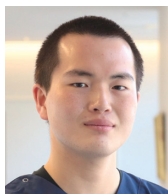
必修分野	その他の分野及び選択研修など											
内科	24週以上	地域医療	4週以上	※1 精神科研修は「愛媛大学医学部附属病院」または「西条道前病院」で4週履修する。								
救急	12週以上	精神科	4週以上	※2 地域医療研修は「村上記念病院」「周桑病院」で4週履修する。								
外科	4週以上	一般外来	4週以上	※3 2年次に「倉敷中央病院」でのER型救急を4週以上(推奨期間は8週)履修する。								
小児科	4週以上	選択科	44週以上	※4 2年次の選択科は「愛媛大学医学部附属病院」「倉敷中央病院」(循環器内科)での履修も可能。								
産婦人科	4週以上			ただし、24週以上は基幹型病院で履修する。								

● 募集要項

[予定人数] 3名
 [応募締切] 令和5年7月31日
 [選考試験] 令和5年8月中旬頃
 [応募書類] ①履歴書 ②卒業証明書又は卒業見込証明書 ③成績証明書
 [研修手当] 1年次：約650万円／年 2年次：約715万円／年
 ※賞与込、手当別
 時間外手当：あり、宿日直手当：あり
 住宅手当：あり、家族手当：あり
 [学会等] あり 病院規定に沿って旅費、参加費支給
 [宿舎] あり 2014年築 1DK 駐車場1台付 オール電化
 家具・家電・WiFi環境完備
 [院内保育所] なし

[休暇] 第2・4週水曜日・土曜日午後、第1・3・5週土曜日
 日曜日・祝日
 7～9月頃に5日程度の有休休暇取得を奨励
 有給休暇 1年次10日・2年次11日
 [保険] 健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
 医師賠償責任保険(病院負担)
 医師会入会(日本医師会、県医師会、都市医師会)会費(病院負担)
 [その他] 医学生奨学金制度(5・6年生対象)あり。
 ※6年生の応募は、マッチング内募集終了まで。

○研修医



1年次
大西 修平
(愛媛大学卒)

当院は研修医が少数であるため、基本的に1つの診療科に1人が回ります。そのため、多くの方に丁寧に指導していただけますし、多くの症例を経験する事ができます。コメディカルや事務スタッフの方々も親切なので、分からないことは遠慮なく聞ける環境が整っています。研修スケジュールは希望をくんで柔軟に作成していただけます。それに加え福利厚生も充実しており、働きやすい環境だと感じています。ぜひ、一度病院見学にお越しください。



研修風景



濟生会西条病院



社会福祉法人恩賜財団

済生会今治病院

〒799-1592 愛媛県今治市喜田村7丁目1番6号
 [TEL] 0898-47-2500 [FAX] 0898-48-5096
<http://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

応募連絡先

担当部署： 臨床研修センター 担当者： 秋山理恵子・日野志惟那
 ✉ resident@imabari.saiseikai.or.jp

カスタマイズ可能、自由な研修プログラム！

当院は、令和2年9月にNPO法人卒後臨床研修評価機構4年認定病院を更新しました。研修プログラムは、自由度が高く診療科の垣根が低いことが特徴です。やりたいことを自由にできる、そんな研修が行えます！
 研修医の数は多すぎず少なすぎず、居心地の良い雰囲気です。また、県内大学出身者だけでなく、県外大学出身者も多く、新しい発見があると思います。
 今治市には、サイクリング（何気に世界的に有名なサイクリングルートが！）や島カフェ巡り、サッカーJ3のスタジアム観戦や釣りなど、休日にも楽しめる場所がたくさんあります！
 まずは、病院見学に来てみてくださいね！皆さんとお会いできるのを心待ちにしております(^^)／

● 病院データ

 病床数 191 床	 医師数(研修医含む) 57 人	 初期研修医数 9 人	 指導医数 29 人	 外来患者数 (1日平均) 573 人
 入院患者数 (1日平均) 177 人	 救急外来患者数 (年間件数) 6,514 人	 救急車搬送患者数 (年間件数) 1,458 人	 年間手術数 2,535 件	 病床稼働率 93%

【開設年】 昭和14年
 【開設者】 社会福祉法人 恩賜財団 済生会
 【院長】 松野 剛
 【標榜科】 内科／消化器内科／循環器内科／小児科／外科／消化器外科
 整形外科／形成外科／脳神経外科／心臓血管外科／泌尿器科／皮膚科
 麻酔科／放射線科／リハビリテーション科／病理診断科
 (院内標榜) リウマチ内科／脳神経内科／呼吸器内科／呼吸器外科
 救急部／総合診療部



研修医集合写真



救急対応の様子

メッセージ

○院長



院長
松野 剛
(岡山大学卒)

済生会今治病院は全国済生会81病院の一つです。済生会は明治44年明治天皇の恵まれない人々に医療の手を差し伸べる、いわゆる済生勅語を基に創設されました。当院は昭和14年に今治診療所として誕生して以来、今年で83年になる急性期病院です。医師初期臨床研修制度が始まった当時から管理型臨床研修病院として、東予で最も研修医を育ててきました。近年、毎年基幹型4～5名と愛媛大学との協力型1～2名の合計6名前後、皆さんの先輩が指導医の下日々研鑽を積んでいます。毎週木曜日には勉強会を行い、県下の済生会病院共同の勉強会や全国済生会の研修医との交流もあります。ぜひ当院の研修について話を聞きに、病院見学に来てください。

○指導医・プログラム責任者



副院長・プログラム責任者
西崎 統
(愛媛大学卒)

当院での研修の第一目標は救急患者に的確な初期対応ができ、プライマリ・ケアを実践できることです。これまでの当院の研修医は救急患者の初期対応が出来る医師に育っており、病棟での急変患者に気管内挿管や心マを行い救命してくれたこともあります。診療科を越えた指導医からの手厚いサポートに加え、医療スタッフも研修を温かく見守ってくれます。ぜひ一度見学に来てください！そして今治の美味しいご飯を食べにいきましょう！！

● プログラムの目的・特徴

目的

医師としての基本的態度を身につけ、さまざまな人格を持つ患者さまと接しても対応できるように人格形成に努める。実際には医療面接、患者診察、検査や処置の基本を中心に基礎的診療能力を修得し、将来専門性を獲得しても医師として必要なプライマリ・ケア、救急処置など実践できる総合診療医を第一の目標とし、次いで専門医取得の準備への基礎能力を培うこととする。

特徴

地域に密着し中規模病院の特殊性を活かし、患者・家族とのふれあいをもとに、医療・福祉・予防医学を学習する。また、1次から2.5次救急まで地域の救急医療・急性期疾患からがん治療、および終末期医療まで広い範囲の診療を経験することができる。
 当院は今治医療圏の中核病院であり、基幹型病院として専門性を発揮できる豊富な症例を持ち、専門的な医療を提供している。また、救急患者は昼夜を問わず診療しており、初期研修に必要な多くの救急疾患を経験できプライマリ・ケアの修得には最適である。中規模病院であるため個々の研修医の要望に対応でき、家族的な雰囲気で行える。初期研修終了後も専門医修得可能な環境が整っており専門研修にも適している。上記のハード研修とともに、大学教官経験者も多くソフト研修にも応えられる。

● 研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科	救急科	外科	内科	精神科	産婦人科	小児科	内科				
2年次	地域医療	選択科										

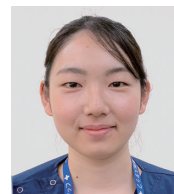
必修分野	その他の分野及び選択研修など
内科 24週以上 救急 12週以上 外科 4週以上 小児科 4週以上 産婦人科 4週以上	地域医療 4週以上 精神科 4週以上 一般外来 4週以上
	＊1 内科（24週）には循環器内科研修（最長8週）を含む ＊2 地域医療は「井門クリニック」・「西予市立野村病院」・「済生会今治第二病院」の中から選択し、4週間履修する。 ＊3 一般外来研修は、内科、外科、小児科、地域医療等で行う。

● 募集要項

【予定人数】 6名
 【応募締切】 令和5年7月21日
 【選考試験】 令和5年8月3日・令和5年8月24日・令和5年9月5日
 【応募書類】 ①履歴書（写真添付） ②卒業（見込み）証明書
 ③成績証明書 ④初期臨床研修申込書 ⑤小論文
 【研修手当】 1年次：約700万円／年 2年次：約700万円／年
 ※賞与込、手当別
 時間外手当：あり
 宿日直手当：あり
 通勤手当：あり
 住宅手当：あり 上限50,000円
 家族手当：あり

【学 会 等】 旅費支給補助あり
 【宿 舎】 あり
 【院内保育所】 あり
 【休 暇】 年次有給休暇、四季休暇（3日間）、年末年始休暇
 ※年2回、1週間程度の連続休暇が取得できます
 【保 険】 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
 医師賠償保険（個人加入：任意）など
 【そ の 他】 職員寮有り（月額2,400円：水道代、インターネット代込み）
 賃貸を希望する場合は住居手当（上限50,000円）を支給

○研修医



1年次
石川 英里
(愛媛大学卒)

当院の魅力は、研修医が主体となって研修に取り組むことができる所です。例えば、週一回の救急日には初期対応を行ったり、病棟でもエコーや内視鏡、外来での初診患者の診察などもさせてもらえます。また、シミュレーター室が完備されているので、気管挿管やCVC穿刺挿入の練習も十分に行えます。
 指導医だけでなく、他の医療スタッフの方々も困ったときにアドバイスいただけるので、とても研修しやすい環境だと思います。ぜひ興味のある方は一度見学に来てみてください！



エコーレクチャーの様子



採血実習の様子



OPE室研修の様子



来島海峡大橋

愛媛県立今治病院

〒794-0006 愛媛県今治市石井町4丁目5-5
 【TEL】0898-32-7111 【FAX】0898-22-1398
<http://www.eph.pref.ehime.jp/epimah/>

応募連絡先

担当部署：総務医事課会計係 担当者：佐伯・坂本
 ✉ imabari-byoin@pref.ehime.jp

地域の人々に信頼される良質な医療の提供を基本理念としています

当院は、愛媛県今治市北部に位置する今治圏域における公的中核病院です。地域の皆様に信頼される良質な医療を提供することを基本理念としております。中核病院として、地域周産期母子医療センターを併設し、二次救急、周産期、小児の救急医療、脳血管疾患等の急性期医療や災害医療、感染症医療等を提供するとともに、公的病院として、政策医療へも積極的に関わっており、このため、急性期医療を担う病院としての機能の維持・強化に取り組んでまいりました。これまでに、二次救急輪番の回数を増やして積極的に救急医療に携わるほか、周産期医療や脳梗塞超急性期患者のt-PAホットライン、心筋梗塞等患者のACSネットワークでは中心的役割を担うなど圏域トップクラスの急性期病院としてその役割を果たしてきています。

「病気で不安な顔で来院された患者、御家族が笑顔で帰っていく病院」、それが当院が目指す病院です。「今治病院に来て本当に良かった」と言っていたような病院を目指して職員一丸となって取り組んでおります。

● 病院データ

 病床数 320床	 医師数(研修医含む) 45人	 初期研修医数 12人	 指導医数 23人	 外来患者数(1日平均) 515人
 入院患者数(1日平均) 140人	 救急外来患者数(年間件数) 5,037人	 救急車搬送患者数(年間件数) 1,615人	 年間手術数 1,894件	 病床稼働率 59%

【開設年】 昭和23年 6月

【開設者】 愛媛県

【院長】 川上 秀生

【標榜科】 内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／血液内科
 糖尿病・内分泌内科／脳神経内科／小児科／外科
 消化器外科／整形外科／脳神経外科／心臓血管外科
 皮膚科／泌尿器科／産婦人科／耳鼻咽喉科／放射線科
 麻酔科／リハビリテーション科
 (休診中：心療内科／眼科／精神科)



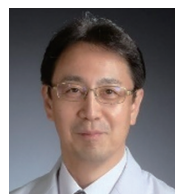
臨床研修症例報告会の様子



心臓カテーテルシミュレータ実習の様子

メッセージ

○院長



院長
川上 秀生
(愛媛大学卒)

当院のミッションは「公的中核病院として、地域の皆様に信頼される良質な医療を提供する」という事です。良質な医療とは「ガイドラインやエビデンスに基づいた標準的な医療を安定して供給する事」と考えています。研修医の先生が「標準的な医療」を提供できる基礎をしっかりと身につける事ができるように指導しておりますので、安心して研修できます。また、中規模病院の強みである各科のコミュニケーションの良さを生かして、「全身を診る力」をしっかりと研修できることも大きな特徴です。また、大規模病院では経験できない1次、2次救急も研修できます。医師の働き方改革にも取り組んでいますので、公私ともに充実した研修生活が送れると確信しています。今治で一緒に働いてみませんか。

○指導医・プログラム責任者



副院長
松田 修
(愛媛大学卒)

地域の病院で研修したいと思われている研修医の皆さんにとって、沢山の患者さんを実際に診察出来て、経験豊富な上級医師がいつも相談に乗ってくれて、なおかつきっちり休める環境であるのは、研修病院としては当たり前の時代であり、これからはカンファレンス重視です！今治は大型のショッピングセンターが出来たり、美味しいお店が増えたり、とても住みやすい街でもあります。衣食住も大切ですよ！

● プログラムの目的・特徴

目的

医療人としての責任と使命を自覚し、患者さんの立場に立った医療が提供できる臨床医を目指し、プライマリ・ケアを中心とした幅広い研修を目標としており、医師として必要なコミュニケーション能力や良識ある態度、幅広い医学的知識と基本的な診療能力を取得することを目的とします。

特徴

- 実地医療の基礎を学び、医療の基本的精神を考えることができます。
- 地方の公的中核病院として、マンツーマン方式による研修が可能です。
- 問診＋症状＋理学的所見から診断および治療へのアプローチの基本を徹底的に研修します。
- 地域の中核病院として高度医療を含む急性期医療を学ぶことができます。
- 各診療科の医師間のコミュニケーションが図られており、研修の進捗状況が管理できます。
- すべての診療科において禁煙の重要性を認識できます。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急科(麻酔科を含む)		外科	小児科	産婦人科	精神科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療	救急科(麻酔科を含む)		選択科								

必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内科	24週以上	地域医療	4週以上
救急	12週以上	精神科	4週以上
外科	4週以上		
小児科	4週以上		
産婦人科	4週以上		

* 1 精神科は「正光会今治病院」にて履修する。
 * 2 地域医療は「岩城診療所」「久保病院」「美須賀病院」「吉野病院」の4施設から選択し履修する

● 募集要項

【予定人数】 2名

【応募締切】 令和5年8月31日(木)

【選考試験】 マッチングによる面接

【応募書類】 ①履歴書 ②卒業(見込)証明書 ③成績証明書
 ④健康診断書

【研修手当】 1年次：約401万円／年 2年次：約455万円／年

※賞与込、手当別

時間外手当：あり、宿日直手当：あり、

通勤手当：あり、住宅手当：あり、

家族手当：あり

【学会等】あり 旅費支給あり

【宿舎】あり 無償提供

【休暇】夏季休暇5日、年末年始休暇あり 他は労働基準法による

【保険】健康保険、厚生年金 雇用保険 労災保険
 医師賠償保険(個人加入)

【その他】



ICLS実習風景



救急明けカンファレンス風景



心臓超音波カンファレンス風景

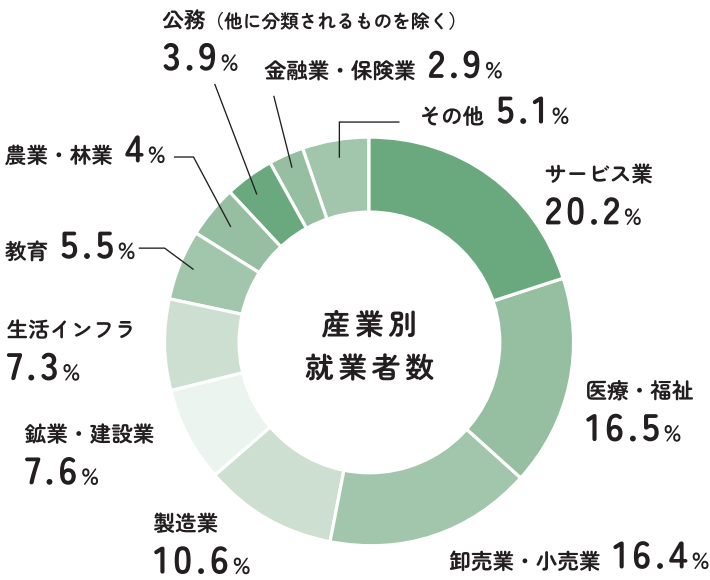


エリア 02 | 中予地区

愛媛県の中央部にあり、松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町の6市町からなる地域です。松山市を中心とした都市部は、県内随一の商業機能に加え、医療、教育、文化施設等が集積しています。中山間地域では、果樹・高原野菜などの農産物、木材、水産物など、地域の特色ある農林水産物が生産されています。道後温泉や松山城など、歴史や文学にまつわる観光地が多数あるほか、石鎚山、四国カルスト、面河溪などの豊かな自然や美しい景色を楽しむことができます。伝統工芸品も多く、日本三大緋の一つに数えられる伊予かすり、白く滑らかな白磁の肌に美しい藍色の絵模様が描かれた砥部焼などがあります。

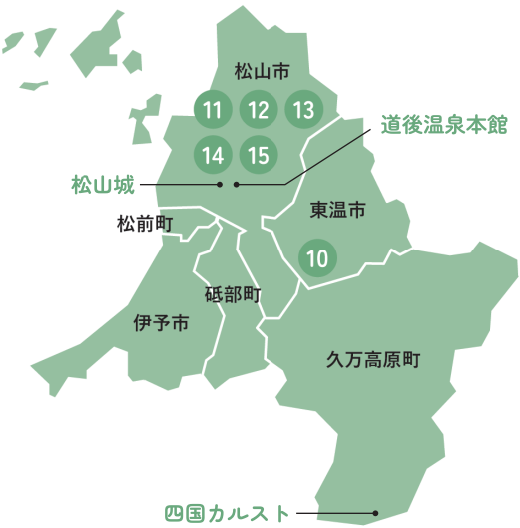
中予地区ってどんなところ？

- 構成市町：松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町
- 人口：638,197人
松山市 511,569人、伊予市 35,161人、東温市 33,917人、久万高原町 7,413人、松前町 29,646人、砥部町 20,491人
- 世帯数：293,281世帯
松山市 240,777世帯、伊予市 14,124世帯、東温市 14,391世帯、久万高原町 3,636世帯、松前町 11,884世帯、砥部町 8,469世帯



※令和2年国勢調査のデータを利用しています。

HOSPITAL MAP



中予地区内医療機関一覧

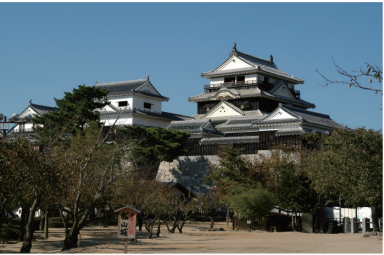
- 10 愛媛大学医学部付属病院
- 11 日本赤十字社 松山赤十字病院
- 12 愛媛県立中央病院
- 13 一般社団法人 永瀬会 松山市民病院
- 14 社会福祉法人 済生会松山病院
- 15 愛媛医療生活協同組合 愛媛生協病院

中予地区おすすめスポット



道後温泉本館

『日本書紀』にも登場する日本最古と言われる温泉です。「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」を3年間に渡り実施中。「道後ONSENアート2022」に続き、最終年度は「道後アート2023」を開催し、海外アーティストを迎え、シンボル作品を商店街に展示します。



松山城

松山城は現存12天守の一つ。松山市の中心部の城山山頂に本丸があり、裾野に二之丸、三之丸がある広大な平山城です。日本で最後の完全な城郭建築（桃山文化様式）として、層塔型天守の完成した構造形式を示しています。



四国カルスト

四国カルストは、標高1,000mから1,500mに連なるカルスト台地。四季折々の美しい高山植物を楽しむことができます。日本百名道にも選定された県道383号線「四国カルスト公園縦断線」は、壮大な景色が楽しめる絶好のドライブ＆ツーリングルートです。

愛媛大学 医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川
TEL 089-960-5098 FAX 089-960-5759
<https://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/kenshu/>

応募連絡先

担当部署：愛媛大学医学部総務課臨床研修チーム 担当者：山根 佑介
✉ kenshu@m.ehime-u.ac.jp

大学病院ならではの高いレベルの研修が可能

愛媛大学医学部附属病院の使命は、学生・医療人の卒前・卒後教育、質の高い医療の提供および医学・医療の発展です。また、これからの教育、診療および研究を通じて、愛媛県の地域医療の向上発展に寄与することも大きな使命であり、“患者から学び、患者に還元する教育・医療・研究”を医学部設置の理念に掲げて努力しています。総合臨床研修センターは、全国有数のシミュレータを取り入れて研修医の医療技術の向上に努めているのも特徴です。

● 病院データ

病床数	医師数(研修医含む)	初期研修医数	指導医数	外来患者数(1日平均)
644床	438人	48人	188人	1,289人
入院患者数(1日平均)	救急外来患者数(年間件数)	救急車搬送患者数(年間件数)	年間手術数	病床稼働率
486人	1,627人	721人	6,337件	77%

〔開設年〕 昭和51年5月10日

〔開設者〕 国立大学法人 愛媛大学

〔院長〕 杉山 隆

〔標榜科〕 内科（血液、感染症、消化器、膠原病・リウマチ、循環器、呼吸器、腎臓、高血圧、内分泌、代謝、アレルギー、糖尿病、脳神経、臨床薬理）／小児科／皮膚科／精神科外科（消化器腫瘍、食道・胃・大腸、内視鏡、小児、肝胆膵・移植、乳腺・内分泌、消化器心臓血管、呼吸器）／泌尿器科／整形外科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／脳神経外科／放射線科／麻酔科／病理診断科／救急科／形成外科／リハビリテーション科／総合診療科／臨床検査科／歯科口腔外科／矯正歯科



【電車】「愛大医学部南口駅」より徒歩7分
【バス】「愛大病院前バス停」より徒歩1分
【車】「川内IC」より約8分、「伊予鉄松山市駅」より約30分



キャダバートレーニング

メッセージ

○指導医・プログラム責任者



研修実施責任者
総合臨床研修センター長
熊木 天児
(愛媛大学卒)

医学生の皆さんへ

各診療科の指導体制が整っているのが大学病院での臨床研修の特徴です。そこに加えて、センター長に就任して以来、研修医の要望に応じてハードもソフトも充実させて来ました。研修と研鑽の棲み分けによる大幅な収入アップ、一次・二次救急の支援体制見直し、研修医による研修医のための勉強会（KKB）や実践的なハンズオンセミナーの導入、研修医向け図書の購入、電子カルテ・PC・コピー機の増設……。

これから皆さんと一緒に「研修医による研修医のための臨床研修プログラム」のバージョンアップを図っていきたいです。

○専攻医

私は1年目を松山赤十字病院で、2年目を愛媛大学医学部附属病院で研修しました。市中病院ではCommon diseaseや救急対応を、大学病院では稀な疾患や合併症の多い症例を経験できます。病院ごとに特徴があり、より幅広く経験を積むことができることがアイプログラムの良いところです。大学病院だから手技や症例数が少ないということもなく、近隣の協力病院での一次・二次救急の救急研修にも参加できます。頼りになる同期も多く、励ましあいながら、時には良きライバルとして切磋琢磨できます。長い医者人生におけるしっかりとした土台を築くことができるアイプログラムで研修してみてください。その際は、私にもぜひ声をかけてください！

令和5年3月 臨床研修終了 茅田 祐輝（愛媛大学卒）

● プログラムの目的・特徴

愛媛で育ち、世界に羽ばたく医療の創造という理念のもと、地域、国内外に視野を持てる幅広い医師を養成する

- 1) 高いレベルの研修内容（指導医数やCPCなどの症例が豊富）
- 2) 研修医・学生とともに創るプログラム（希望を尊重した豊富なプログラム）
- 3) 病院・地域が全員参加・支援するシステム（研修医へのバックアップの充実）
- 4) 総合臨床研修センターが全面的にサポート

などが挙げられ、具体的には①丁寧な指導医が多い、②研修環境（設備・福利厚生面）が充実している、③専門医養成研修へのスムーズな移行（新専門医制度に対応した19基本診療領域のプログラムを作成）、④国内初の手術手技トレーニングセンターでのご団体による手術手技研修（キャダバートレーニング）、⑤多種多様なシミュレータを導入、⑥密度の濃いCPC（剖検率全国有数）などが特徴です。

また、研修医に学会発表や学外研修の機会をできるだけ多く与えており、地域、国内外に視野を持てる幅広い医師の養成（愛媛で育ち、世界に羽ばたく医療の創造という理念）に常に努めています。大学病院だけでなく、数多くの研修協力病院・協力施設での研修を組み合わせフレキシブルな選択が可能であり、さまざまな希望に応えられるプログラムになっています。ただ自由度を高めるだけではなく、一人ひとりのニーズを実現するため、各分野の専任アドバイザーが最も効果的なローテート研修のプラン作りを手伝っています。

● 研修スケジュール

1年次	1～24週	25～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
	内科	救急部門	精神科	外科	小児科	産婦人科
愛媛大学医学部附属病院 または たすきがけ病院 ^{※1}						
2年次	1～12週	40週～48週				
	地域医療	選択科				
	外部医療機関 4～12週	愛媛大学医学部附属病院（16～48週）または外部医療機関（最大24週） ^{※2}				
1年目：愛大	外部医療機関 4～12週	愛媛大学医学部附属病院（40～48週）				

研修分野	その他の分野及び選択研修など
内 科 外 科 小 児 科 産婦人科 精 神 科	24週以上 4週以上 4週以上 4週以上 4週以上
救急部門 地域医療 一般外来研修 在宅医療研修 選択科目	12週以上 4～12週以上 1週以上 ^{※3} 2週以上 ^{※4} 40～48週以上
※1：1年目研修たすきがけ病院は、（愛媛県立中央病院、松山赤十字病院、松山市民病院、済生会松山病院、済生会今治病院、市立宇和島病院）から選択可能。 ※2：1年目研修を愛媛大学医学部附属病院で開始した場合、2年目の選択科研修では県外を含む外部医療機関で最大24週研修可能。 ※3：一般外来研修（4週以上）は、地域医療および専門外来でない診療科（内科、外科、小児科）に限って重複した並行研修が可能であるが、精神科および救急科での並行研修は認められていない。1年次の研修開始病院及び2年次の地域医療研修で平行して行う。 ※4：在宅医療研修は、地域医療研修中に行う。	

● 募集要項

〔予定人数〕 46名

〔応募締切〕 令和5年7月14日(金)

〔選考試験〕 ①令和5年8月9日(水) ②令和5年8月25日(金)

筆記試験及び面接により選考

〔応募書類〕 ① 臨床研修申込書 ② 研修希望調査票 ③ 卒業（見込）証明書

〔研修手当〕 1年次：約350万円／年 2年次：約350万円／年（諸手当別）

※R4年度参考年収350～500万円程度（諸手当込）

時間外手当：あり、 通勤手当：あり

※当院規定により支給

〔学 会〕 あり 年2回分奨励金支給

〔宿 舎〕 あり 平成24年3月築

〔院内保育所〕 あり あいあいキッズ

〔休 暇〕 土曜・日曜・祝祭日 年次有給休暇20日（採用時付与）
リフレッシュ休暇3日 その他、年末年始休暇・特別休暇あり

〔保 険〕 文部科学省共済組合保険、厚生年金保険 雇用保険
労働者災害補償保険完備
医師賠償責任保険（病院において加入）

〔そ の 他〕 救急支援研修（1次・2次救急）
8日に1回の救急輪番への派遣制度
令和4年度最大16回参加（希望制）

※地域医療(25施設)：2年目に4～12週間選択(必須)

東予地区	愛媛労災病院	済生会西条病院	瀬戸内海病院
中予地区	久万高原町立病院	野本記念病院	松山協和病院
	松山ペテル病院	奥島病院	たんぼぼクリニック
	おおぞら病院	伊予病院	貞本病院
	ミネルワ会渡辺病院	愛媛生協病院	
南予地区	市立大洲病院	喜多医師会病院	大洲中央病院
	市立八幡浜総合病院	西予市立野村病院	西予市立西予市民病院
	市立宇和島病院	JCHO宇和島病院	宇和島市立津島病院
	松野町国保中央診療所	愛媛県立南宇和病院	

※選択科(45施設)：2年目に最長24週間選択可能(1年目を愛媛大学医学部附属病院で研修した場合のみ)

東予地区	HITO病院	四国中央病院	住友別子病院	愛媛労災病院
	十全総合病院	愛媛県立新居浜病院	西条中央病院	西条市立周桑病院
	済生会西条病院	村上記念病院	済生会今治病院	愛媛県立今治病院
	瀬戸内海病院			
中予地区	愛媛県立中央病院	松山赤十字病院	松山市民病院	済生会松山病院
	愛媛生協病院	国立病院機構 愛媛医療センター	伊予病院	砥部病院
	松山リハビリテーション病院	ミネルワ会渡辺病院	愛媛生協病院	松山記念病院
	久万高原町立病院	たんぼぼクリニック	たかのこ館	愛媛県厚生連 健診センター
	愛媛県総合保健協会	愛媛県 赤十字血液センター	愛媛県 心と体の健康センター	愛媛県中予保健所・松山市保健所
南予地区	市立八幡浜総合病院	市立大洲病院	喜多医師会病院	大洲中央病院
	西予市立野村病院	市立宇和島病院	JCHO宇和島病院	愛媛県立南宇和病院
愛媛県外	日本医科大学付属病院	中河内救命救急センター	野口病院	りんくう総合医療センター

日本赤十字社

松山赤十字病院

〒790-8524 愛媛県松山市文京町1番地
 [TEL] 089-924-1111 [FAX] 089-922-6892
<https://www.matsuyama.jrc.or.jp/careers/resident/junior/>

応募連絡先

担当部署：人事課 教育研修推進室 担当者：研修係長 酒井 かおり
 ✉ kenshu@matsuyama.jrc.or.jp

令和4年12月グランドオープン!!

大正2年に創立され、100年以上の歴史を持ちます。センター構想のもとに高度の専門医療を提供し、愛媛県における基幹病院の一つとしての重責を担っており、学会認定医制度に基づく研修教育施設として専門医取得に力を入れています。平成17年に「地域医療支援病院」の承認を受け地域完結型の医療を実践しており、輪番制となっている救急当番日以外も24時間365日、かかりつけ医からの紹介を受け救急医療に力を入れています。平成30年1月に北棟、令和3年3月に南棟が完成し、令和4年12月にグランドオープンを迎えることができ、今まで以上に患者に寄り添う医療を提供していきたいと考えています。

● 病院データ

 病床数	 医師数(研修医含む)	 初期研修医数	 指導医数	 外来患者数(1日平均)
585床	219人	33人	128人	1,085人
 入院患者数(1日平均)	 救急外来患者数(年間件数)	 救急車搬送患者数(年間件数)	 年間手術数	 年間病理解剖数
509人	13,378人	5,731人	7,076件	12件

〔開設年〕	大正2年4月1日
〔開設者〕	日本赤十字社
〔院長〕	西崎 隆
〔標榜科〕	内科／血液内科／糖尿病・内分泌内科／肝臓・胆のう・膵臓内科 腎臓内科／脳神経内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科 リウマチ科／小児科／外科／整形外科／形成外科／脳神経外科 呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科 眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線診断科／放射線治療科 麻酔科／血管外科／乳腺外科／心療内科／精神科／歯科口腔外科／病理診断科

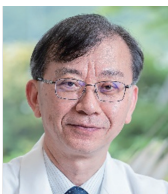


1年次研修医

縫合と糸結び

メッセージ

○院長



院長
西崎 隆
(九州大学卒)

当院は、これまで長年にわたり基幹型研修病院、ならびに愛媛大学と九州大学の協力型研修病院として多くの研修医を受け入れ、豊富な教育指導経験があります。救急患者の振り回しを行う「救急部カンファレンス」、診療にすぐ役立つ知識を伝授する「モーニングレクチャー」、エコーなどの検査実技を学ぶ「検査部ワークショップ」、設備の整ったシミュレーションルーム、図書室など、充実した研修ができるよう整備し、その中で皆さんが生涯の目標を見つけられるよう支援しています。

医師になって初めの2年間は、チーム医療に必要な人間形成にとっても大切な時期です。多くの教育熱心な指導医と医療スタッフの指導のもと、皆さんは着実に実力を身につけることができます。

○指導医・プログラム責任者



副院長
藤崎 智明
(九州大学卒)

臨床研修は、皆さんの資質を磨き、医師としての素養を身につけると同時に、患者さんの立場に立てる人格涵養を行うことが出来る唯一無二の大切な期間です。はじめの2年間で今後の自身の医師像を決めると言っても過言ではありません。

当院は最新の設備を擁し、優秀な数多くの指導医、患者の立場から意見してくれる看護師、知識豊富で頼りになる薬剤師、技術を惜しげもなく伝授する技師、そして皆さんのニーズに柔軟に対応してくれる事務職員が皆さんを支え、育てます。愛媛の地域医療の維持・発展と一緒に貢献してくれる人材育成が我々の責務と考えています。是非、一緒に頑張っていきたいと思います。

● プログラムの目的・特徴

目的

- 1) 医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアへの理解を深め、患者を全人的に診ることができる基本的な診療能力を修得する。
- 2) 看護師、薬剤師などのコメディカルスタッフとともに診療にあたり、チーム医療の実践を身につける。
- 3) かかりつけ医など地域の医療機関との密接な連携のもとで、地域完結型の医療を学ぶ。
- 4) 後期研修（レジデント）で専門医療を体得するための基礎をつくる。
- 5) 赤十字の使命である災害救護活動や医療社会奉仕活動に積極的に参加する。

特徴

地域医療支援病院として連携している医療機関から紹介される豊富な症例を通して幅広い臨床研修を積むとともに、各診療科では地域の基幹病院として提供している高度の専門的医療を学ぶことができます。

救急部門の研修は、救急外来の一次救急から救急搬送患者までの初期診療に重点を置き、継続して救急入院患者を担当します。また、選択必修の麻酔科研修も含め、気管挿管・中心静脈確保等の救命に必要な手技を習得します。更に希望する場合は、2年目の選択期間に、他県の赤十字病院の高度救命救急センターでの研修も可能です。

平成19年に「教育研修推進室（臨床研修センター）」を設置し、教育研修担当の看護師、事務職員を配置し、薬剤師、検査技師等のコメディカルスタッフも含めて病院職員全体で研修医を育てています。研修ローテーションは個人の希望を尊重して作成し、研修途中の変更にも柔軟に対応しています。各診療科では、指導責任医師のもとに、指導医、後期研修医（レジデント）が熱心に指導にあたっています。当院はクラブ活動を推奨しています。余暇も大切に、ゆとりを持った研修生活を送ってほしいと思います。

● 研修スケジュール

1年次	24週		8週	4～8週	4週	4週	4週	4週
	内科系		救急部門※1	麻酔科	外科	小児科	産婦人科	精神科
	当院		当院	当院	当院	当院	当院	外部医療機関
2年次	4週	48週						
	地域医療	選択科（将来専門とする診療科を中心に関連の診療科）※2						
	外部医療機関	当院又は外部医療機関						

必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内科	24週	地域医療	4週
救急	8週	精神科	4週
外科	4週	麻酔科	4～8週
小児科	4週		
産婦人科	4週		

※1：救急部門研修：救急輪番日（救急日）は、外来の一次救急から救急搬送患者までの初期診療に重点を置き、継続して救急入院患者を担当します。2年間を通して救急部門以外の研修期間においても月2～3回程度の救急宿日直を担当します。これにより、救急部門研修を8週とすることも可能です。

※2：救命救急センター等での重症患者の集中治療・救急医療の研修を希望する場合は、2年次の選択期間に原則として、4～8週間の他施設（赤十字病院）における研修を可能としています。

※救急研修：日本赤十字社和歌山医療センター高度救命救急センター、徳島赤十字病院高度救命救急センター

● 募集要項

〔予定人数〕	18名	〔学 会 等〕	あり：発表時旅費支給あり
〔応募締切〕	令和5年7月31日（月）必着	〔宿 舎〕	あり：契約住宅確保（敷金・礼金は病院負担）
〔選考試験〕	第1回：令和5年8月10日（木） 第2回：令和5年8月24日（木） 書類審査、小論文、面接により選考 ※マッチングシステムに参加	〔院内保育所〕	あり
〔応募書類〕	①松山赤十字病院初期臨床研修申込書（DOCX形式） ②履歴書（XLSX形式）③卒業見込証明書 ④医師免許証の写 ⑤成績証明書 資格取得見込みの方①②③⑤ 資格を有する方①②④ ※①②については当院ホームページの「臨床研修サイト」からダウンロード	〔休 暇〕	土曜日、日曜日、祝祭日、創立記念日（5/1） 年末年始（12/29～1/3） 有給休暇24日、特別有給休暇（慶弔、夏季休暇）
〔研修手当〕	1年次：約409万円／年 2年次：約456万円／年 ※賞与込、手当別 時間外手当：あり 宿日直手当：あり 救急当直は実働に応じた時間外手当を支給 通勤手当：あり 月額55,000円を限度として支給 住宅手当：あり 月額28,500円を限度として支給	〔保 険〕	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
		〔そ の 他〕	年収：1年次 約5,800,000円 2年次 約6,300,000円 （※給与年額は令和4年度実績）

○研修医



研修医
2年次
桧垣 有紗
(愛媛大学卒)

松山赤十字病院の魅力をお伝えします。1つ目は温厚な先生方、看護師さんなど多職種の皆さんの手厚いご指導を受けられることです。研修医1年目から手技や病棟業務など経験することができ、様々な視点からの医療の見方を学びながら日々成長することができます。

2つ目は研修医の人数が多いことです。同期は互いに切磋琢磨して高め合える存在であり、喜びや不安を分かち合うことができます。

3つ目は病院が新しく建て替わり、とても働きやすい環境であることです。院内にはタリーズやローソンもあり、休憩時にも安らげる職場です。

ぜひ一度病院見学に来て病院の雰囲気を見ていただき、研修先に選んでいただけると幸いです。

研修医を対象に様々な研修会などを行っています！

【救急部カンファレンス】毎週金曜のお昼にはランチ付きのカンファレンスを行っています。1年次研修医が救急外来で「判断に迷った症例」について検討し、その後各科指導医がミニレクチャーを行っており、臨床に使える知識を得ることができ、実際の症例を元に対応の仕方も学べます。



【モーニングレクチャー】毎週木曜の朝は輸液療法や抗菌薬などテーマに沿って医師やコメディカルが講義を行っており、幅広い知識を学ぶことが出来ます！



【ワークショップ】検査部、病理診断科、放射線診断科・治療科が開催しています。他職種との垣根が低く、多くの事が学べる環境です。

愛媛県立中央病院

〒790-0024 愛媛県松山市春日町83番地
 [TEL] 089-947-1111 (代表) [FAX] 089-943-4136
<http://www.eph.pref.ehime.jp/epch>

応募連絡先

担当部署：総務医事課 職員係 担当者：兵頭 宏治
 ☒ c-kensyu@eph.pref.ehime.jp

自ら考え、動ける研修医を目指す！

「県民の安心の拠り所である病院」、「県民の最後の砦」として、愛媛県内医療の中心的な役割を担っています。

内科疾患に対する高度医療、小児救急も含めた小児医療、県内一の出産数を誇る周産期医療、早期から導入しているロボット手術、脳卒中、循環器系、外傷などドクターヘリを用いた3次医療、すべてにおいて症例数は中四国でトップクラスの病院です。

● 病院データ

病床数 (一般824床、感染症3床)	827床	医師数(研修医含む)	272人	初期研修医数	42人	指導医数 (指導医講習会受講済み)	140人	外来患者数(1日平均)	1,356人
延入院患者数(1日平均)	516人	救急外来患者数(年間件数)	6,402人	救急車搬送患者数(年間件数)	3,889人	年間手術数	7,600件	病床稼働率	62.4%

【開設年】 昭和23年 6月

【開設者】 愛媛県

【院長】 中西 徳彦

【標榜科】 総合診療科／消化器内科／腎臓内科／循環器内科
 呼吸器内科／血液内科／糖尿病・内分泌内科／脳神経内科
 感染症内科／呼吸器外科／消化器外科／小児外科
 乳腺・内分泌外科／小児科／新生児内科／泌尿器科
 麻酔科／救急科／精神科／眼科／耳鼻咽喉科／頭頸部外科
 皮膚科／形成外科／顎顔面外科／放射線科／心臓血管外科／整形外科／脳神経外科／産婦人科／漢方内科
 リハビリテーション科／ペインクリニック内科／歯科／病理診断科



ヘリポート
毎年入職時にヘリポートで写真をとっています。



お祝い会
研修終了のお祝い会の風景。研修医にこれからの“夢”をホワイトボードに書いてもらいました。

メッセージ

○院長



院長
中西 徳彦
(岡山大学卒)

当院は愛媛県の基幹病院として毎年20名あまりの初期研修医を受け入れています。多くの大学出身の研修医が来られており、和気あいあいとした雰囲気の中、切磋琢磨しています。初期研修の2年間は、医師としてではなく、社会人としての第一歩です。患者さんにかかわるとともに、多くの職種の人たちと共同でチーム医療にあたるという意識を持ってもらいます。症例は豊富でバラエティに富んでおり、アカデミックな野戦病院です。初期研修の2年間の間に自分の経験した症例を学会発表、さらには論文発表してもらっています。ぜひ、当院に飛び込んでください。

○指導医・プログラム責任者



臨床研修センター長
名和 由一郎
(島根医科大学卒)

当院は中四国最大の自治体病院で、県下の拠点病院として3次救急、災害、周産母子、がん医療などの重要な役割を果たしています。内科系はもちろん、外科系も最新の手術支援ロボットを2台所有し、手術症例数も中四国でトップクラスです。また、初期研修終了後の専門医研修プログラムも多くあり、進路選択もしやすくなっています。指導医資格を持った医師の割合も多く、“ジェネラルマインド”を持ち合わせ、自ら考え、動ける”研修医を育成しております。また、バランスの取れた医師となるように、選択科では院外の中小規模の研修を積極的に勤めています。当院のプログラムで、充実した臨床研修を経験し、将来の医師としての力を身につけましょう。

● プログラムの目的・特徴

目的

当院のプログラムの目的は、地域の医療に貢献することができるジェネラリストやジェネラルマインドを持った専門医を育成することです。臨床的スキルや知識を取得することで基本的診療能力を身につけ、チーム医療を学ぶことで患者中心の医療を実践し、プロフェッショナリズム、臨床倫理、医療安全を学び、医師としての人格を涵養することも目的としています。

特徴

当院は「県民の最後の砦」として3次救命救急(ドクターヘリ)研修を提供し、総診外来や日々のかかりつけ患者対応(宿日直：1次)研修など、幅広くバランスの取れたプライマリ(ファーストタッチ)研修ができます。各科ローテーション(必須・選択)研修とともに、毎週行われる研修医勉強会を通じてプライマリケアの標準的・基本的能力(知識、態度、技術)を堅実かつ有効に習得することができます。また、ネイティブの指導による英語プレゼンテーション研修や院外外部講師によるレクチャー(年数回予定)も行われ、幅広い知識や手技、プロフェッショナリズムを学ぶことができます。当院の特徴は、県立新居浜、同今治、同南宇和の3つの県立病院と密に連携しており、地域研修、選択科研修で1-2か月研修を行うことが可能です。大病院では経験できないコモンな疾患の診療や地域の救急対応、手技、検査を多数経験できます。また、基幹型専門医プログラムも大学以外では一番多く、将来を見据えながら研修することもできます。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科(総合診療科)	内科				救急科		麻酔科	外科	精神科	小児科	産婦人科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療	一般外来	選択科									

内科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、放射線科など※1

必修分野	その他の分野及び選択研修など
内 科 24週以上 救 急 12週以上 外 科 4週以上 小 児 科 4週以上 産婦人科 4週以上	※1 選択研修では「県立今治病院」「県立新居浜病院」「沖縄県立中部病院」「松山リハビリテーション病院」「ひねのクリニック」「松山医師会健診センター」で2週間～4週間、「徳島県立中央病院」「香川県立中央病院」「高知医療センター」で1週間の研修が可能 ※2 地域医療「県立南宇和病院」「西予市立野村病院」「おおぞら病院」「渡辺病院」「鷹の子病院」「松山ベテル病院」「瀬戸診療所」「西予市民病院」の6施設から選択し、4週間履修する。 ※3 精神科は「愛媛大学医学部附属病院」で4週間実施する。 ※4 一般外来研修は1年次の内科(総合診療科)及び2年次の一般外来研修で実施する。

● 募集要項

【予定人数】 22名

【応募締切】 令和5年7月28日(金) 必着

【選考試験】 令和5年8月11日(金/祝) 8月23日(水) いずれか筆記試験、面接試験(マッチングに参加)

【応募書類】 ①履歴書(当院指定様式はホームページからダウンロード) ②卒業(見込)証明書

【研修手当】 1年次：約428万円/年 2年次：約492万円/年
 ※賞与込、手当別
 時間外手当：あり 宿日直手当：21,000円/回
 通勤手当：通勤距離に応じて支給
 住宅手当：敷地内医師公舎あり

【学 会 等】 旅費支給あり

【宿 舎】 医師公舎 単身用ワンルームマンション型：1K 33平方メートル
 世帯用マンション型：2LDK 68平方メートル
 職員宿舎 単身用ワンルームマンション型：1K 24平方メートル
 【院内保育所】 あり
 【休 暇】 土曜・日曜・祝祭日
 夏季休暇5日、年末年始休暇(12/29～1/3) あり
 有給休暇20日
 【保 険】 1年次：地方公務員共済組合短期、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険
 2年次：地方公務員共済組合、地方公務員災害補償基金
 【そ の 他】 選択(必修)科目で院外実施の地域医療研修については宿舎確保の間、別途研修旅費(交通費・宿泊費・日当)の支給あり
 航空手当(2年次にドクターヘリに搭乗し診療等に従事した場合)その他、特殊勤務手当の支給あり

○研修医



2年次
岡部 珠里
(愛媛大学卒)

当院は症例数が多く、様々な先生方から手厚くご指導いただきながら研修できます。研修医向けの勉強会が多く、自習では足りない分を補い、学んだことを共有し切磋琢磨しあえる環境が整っています。当直ではかかりつけ患者さん等の対応を通して初期対応を経験できるほか、3次救急の研修もあるため、幅広く救急対応を学べます。同期は約20名で、愛媛県外の大学出身の研修医も多く、皆仲良く研修しています。当院での研修に少しでも興味を持ってくださいましたら、是非一度見学にいらしてください。



研修医勉強会
毎週金曜日に勉強会を行っています。

一般財団法人永頼会

松山市民病院

〒790-0067 愛媛県松山市大手町二丁目 6 番地 5
 [TEL] 089-943-1151 [FAX] 089-947-0026
<https://www.matsuyama-shimin-hsp.or.jp>

応募連絡先

担当部署：臨床研修室 担当者：高内
 ✉ ikyoku3b@matsuyama-shimin-hsp.or.jp

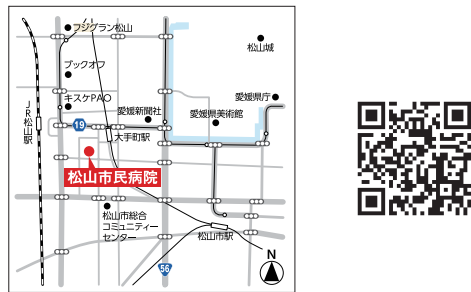
プライマリケアと専門医療の融合

当院は松山市内に位置し、松山市の二次救急医療及び急性期医療を担う市中基幹病院です。
 地域に密着した診療を行っており、Commom Diseaseを中心とした一般診療から救急医療、更には専門性の高い医師やスタッフによる高度医療まで、幅広い医療を提供しています。

● 病院データ

 病床数	 医師数(研修医含む)	 初期研修医数	 指導医数	 外来患者数(1日平均)
399 床	83 人	8 人	40 人	566 人
 入院患者数(1日平均)	 救急外来患者数(年間件数)	 救急車搬送患者数(年間件数)	 年間手術数	 病床稼働率
258 人	7,320 人	3,293 人	7,145 件	69%

[開設年] 昭和31年 6 月 1 日
 [開設者] 一般財団法人 永頼会
 [院 長] 柚木 茂
 [標榜科] 内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／外科／呼吸器外科
 心臓血管外科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／脳神経外科／整形外科
 泌尿器科／小児科／麻酔科／形成外科／皮膚科／放射線科／歯科
 歯科口腔外科／リハビリテーション科／脳神経内科／心療内科／精神科
 病理診断科／救急科



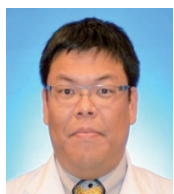
JR 松山駅より徒歩 5 分
 伊予鉄郊外電車「大手町駅」より徒歩 3 分



1 年次研修医

メッセージ

○指導医・プログラム責任者



臨床研修プログラム
責任者
木阪 吉保
(愛媛大学卒)

当院はJR松山駅、伊予鉄松山駅にも近く利便性の高い立地にあります。そのために症例数が多く、研修では十分な症例を診られます。また、それぞれの分野に専門医がいて高度医療を実践しています。しかし、その一方で各診療科の垣根が低くアットホームな雰囲気を出し合っています。複数の大学医局から医師が派遣されていることもあり研修中に多くの大学の先生と触れ合い、出身大学に関係なくすぐに溶け込める雰囲気が出ています。初期研修は医師としての将来に大きな影響を与える大切な期間です。われわれと一緒に充実した研修を送りましょう。

○研修医

各診療科により研修内容はさまざまですが、全体を通して基本的な手技は一通り経験でき、また自分で患者さんを診察し異常を見つけ、どのような検査が必要か考え、治療方針を決めることまでさせてもらえます。もちろん分からない時は相談にのっていただき丁寧に指導してもらえます。松山市民病院では、研修の診療科のローテーションをかなり自由に決められます。必修科目などある程度の制限はありますが、最低4週単位で診療科を選択できるので幅広くいろいろな科をまわれますし、将来進みたい科が決まっていたらそれに合わせて診療科を選択できます。見学だけではわからない部分もたくさんあると思いますが、雰囲気だけでも一度ぜひ見に来てください。

● プログラムの目的・特徴

目的

病院の規模が大きく多くの症例を経験できる
 松山市中心部に位置しており、近隣の診療所からの紹介を含め多くの症例が集まります。また、当院は松山市救急輪番病院となっており、8日に1回の救急日には松山地区約60万人の医療圏から様々な救急患者が集まってきます。豊富な症例を直接経験し、カンファレンスや勉強会で振り返る事で、医師としてスキルアップをめざします。

特徴

○それぞれの分野に専門家がいて相談できる
 現在は医療の高度化に伴って高い専門性が要求される傾向にあります。日本内科学会や日本外科学会をはじめとする各学会から34の施設認定を受けています。また、産婦人科と精神科以外のほとんどの診療科を備えており、それぞれに専門性の高い医療を行っています。
 内科は6グループ（消化器、循環器、呼吸器、血液、腎臓、糖尿病・内分泌）に分かれており、外科は一般外科（消化器、乳腺、甲状腺）、呼吸器外科、心臓血管外科の3グループに分かれており、研修中にはそれぞれの領域の指導医から直接指導を受けることのできる体制がとられています。
 ○各診療科の敷居が低くアットホームな雰囲気である
 大規模な病院ですどうしても診療科や卒業大学によって敷居ができてしまうことがあります。しかし、当院ではそのようなことは全くありません。
 医局には全ての科の医師が机を並べており、研修中の科以外の先生とも気軽にコミュニケーションをとり相談することが可能な雰囲気となっています。研修医室の近くに指導医の医局がありますので、困った時にはすぐに相談できるのが大きなメリットです。
 また、複数の大学医局から医師が派遣されていることもあり研修中に多くの大学の先生と触れ合うことができます。そのため、出身大学に関わらず、すぐに溶け込める雰囲気ができています。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急科(救急科・救急外来・麻酔科)			外科	小児科	産婦人科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療	精神科	選択科									

必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内 科	24週以上	地域医療	4週以上
救 急	12週以上	精 神 科	4週以上
外 科	4週以上		
小 児 科	4週以上		
産婦人科	4週以上		

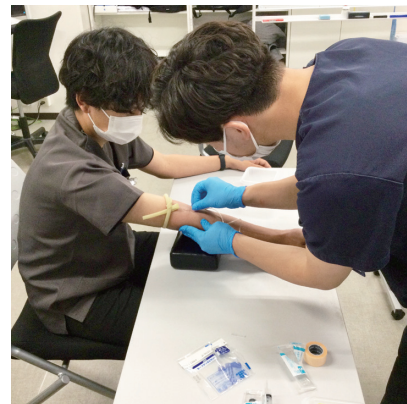
- 救急は救急科での4週間からの研修に加えて8日に1回の救急輪番を2年間経験する
- 外来研修は内科、外科、小児科にて週1回相当以上の研修を1年以上経験する
- 産婦人科は愛媛大学医学部附属病院で研修する
- 精神科は真光園又は愛媛大学医学部附属病院で研修する
- 地域医療は市立大洲病院、西予市立西予市民病院、西予市立野村病院、久万高原町立病院より選択する
- 選択科としては松山市民病院、愛媛大学医学部附属病院及び野口病院（別府）の全ての標榜科を選択可能
- 松山市民病院での研修は合計48週以上とする

● 募集要項

[予定人数]	8名	[学 会 等]	あり 発表のある学会・研究会の参加可能
[応募締切]	令和5年7月1日～7月31日	[宿 舎]	なし
[選考試験]	令和5年8月中旬	[院内保育所]	あり
[応募書類]	①履歴書（要写真） ②卒業（見込み）証明書 ③成績証明書 ④面接用資料（各自当院指定のフォーマットを印刷し、直筆で記入したもの）	[休 暇]	日曜・祝日、土曜（第2・4） リフレッシュ休暇6日、年末年始休暇（12/29～1/3） 有給休暇10日（採用6ヶ月経過後） 特別（慶弔）休暇
[研修手当]	1年次：約600万円／年 2年次：約700万円／年 ※賞与込、手当別 時間外手当：あり 法定通り 宿日直手当：あり 12,000円（2年目） 通勤手当：あり 院内規定による 家族手当：あり 院内規定による 住宅手当：あり 30,000円	[保 険]	協会けんぽ 厚生年金保険 雇用保険 労災保険 医師賠償保険（任意）など
		[そ の 他]	救急手当（院内規定による）



ハンズオントレーニング



採血練習

社会福祉法人

恩賜財団 済生会松山病院

〒791-8026 愛媛県松山市山西町880番地2
 [TEL] 089-951-6111 [FAX] 089-953-3806
<https://www.saimatsu-jr-resident.jp/>

応募連絡先

担当部署：臨床研修センター事務局 担当者：北川、長谷川
[✉ rinsyokensyu@matsuyama.saiseikai.or.jp](mailto:rinsyokensyu@matsuyama.saiseikai.or.jp)

少数精鋭・豊富な症例・実践主義

- 少人数ならではの密度の濃い研修ができます。
- 平日は外来や処置、病棟管理を行い、比較的ゆっくりとしたペースでじっくり勉強する時間もあります。
- 救急日は研修医が積極的にファーストタッチを行う、メリハリの利いた研修です。



【電車】伊予鉄郊外電車 高浜線「山西駅」より徒歩7分
 【バス】伊予鉄バス 三津ループ線「三本柳済生会病院前」下車すぐ
 【タクシー】JR松山駅より約15分、松山空港より約15分、松山観光港より約15分



● 病院データ

病床数 199床	医師数(研修医含む) 52人	初期研修医数 7人	指導医数 27人	外来患者数(1日平均) 521人
入院患者数(1日平均) 151人	救急外来患者数(年間件数) 6,534人	救急車搬送患者数(年間件数) 3,145人	年間手術数 1,256件	病床稼働率 76%

【開設年】昭和39年
 【開設者】社会福祉法人恩賜財団済生会支部愛媛県済生会
 【院長】宮岡 弘明
 【標榜科】内科／循環器内科／脳神経内科／外科／整形外科
 脳神経外科／麻酔科／放射線科／眼科／婦人科／
 泌尿器科／皮膚科／形成外科／リハビリテーション科



令和5年度の1年目研修医6名
 症例を豊富に経験できるのも少人数ならではの



救急ファーストタッチ
 研修医は指導医・上級医とペアでファーストタッチ

メッセージ

○院長



院長
 宮岡 弘明
 (鹿児島大学卒)

初期研修の2年間は約50年の医師人生の中でとても大事な期間です。この2年間は医師として歩む人生に大きな影響を与えます。将来どの診療科に進むにしても、済生会松山病院での初期研修により「医師としての人生」に自信を持つことができると思います。救急対応・診断能力向上・治療手技取得のいずれにおいても充実した時間をおくれるでしょう。ぜひ一度済生会松山病院に見学に来て、体験してください。

○指導医・プログラム責任者



副院長
 プログラム責任者
 村上 英広
 (愛媛大学卒)

済生会松山病院は松山市にある中規模急性期病院で、プライマリ・ケアと救急医療に特に力を入れています。年間約3,000台の救急車を受け入れており、指導体制も整えていますので、初期研修1年目から救急医療を十分習得することができます。また研修医育成セミナーや診療船による離島検診など、充実した研修ができるように病院全体で取り組んでいます。令和4年度には臨床研修病院としての適格性評価でエクセレント賞を受賞しました。ぜひ一度見学に来てください。

● プログラムの目的・特徴

目的

当院の理念「済生会精神に基づき地域の医療・保健・福祉の充実」の下、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付ける。

特徴

地域に密着した中規模病院の特殊性を活かし、日常頻繁に遭遇する病気に適切に対応する基本的臨床能力を身につけることができるよう、1次から2次救急まで地域の救急医療、急性期疾患及び終末期医療まで広範囲に渡った豊富な症例を経験することができます。また、当院は8日毎の救急輪番制にて当医療圏の2次救急も担っているため、初期臨床研修に必要な多くの救急疾患を経験することができ、2年間を通して一貫した細かな指導が受けられます。

外科研修では、一般外科以外に救急医療で遭遇する可能性の高い整形外科疾患、脳神経外科疾患を一定期間集中的に研修するため、プライマリ・ケアの修得には最適です。

研修医と指導医のレベルアップを目的に、年2回愛媛県内の済生会病院が合同で「愛媛済生会病院研修医育成セミナー」を開催し、症例検討会や全国的に有名な指導医による特別講演を行っています。また、毎年、済生会学会・総会に合わせて開催される全国の済生会病院1年目研修医が一同に会す「初期研修医のための合同セミナー」に参加し、本会の規模を実感するとともに歴史、理念を学習しています。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	オリエンテーション	内科（一般内科）			内科（循環器内科）		救急科			外科	選択科	
	当院											
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	選択科	地域医療	精神科	産婦人科	小児科	選択科						選択科
	当院	外部医療機関				当院又は外部医療機関						当院

必修分野				その他の分野及び選択研修など	
内 科	24週以上	地域医療	4週以上	救急部門：整形外科、脳神経外科、麻酔科を各4週	
救 急	12週以上	精 神 科	4週以上	一般外来4週：2年間の並行研修（おもに内科、外科、地域医療で経験）	
外 科	4週以上	一般外来	4週以上	【選択科】当院の各診療科のほか、豊富な連携病院※の中から研修先を選択できます。 1年目、2年目あわせて46週の選択科を設けており、研修医一人ひとりのニーズに応える自由度の高いプログラムです。 研修を進めていく中で将来の志望科が変わった場合なども、スケジュールを途中で変更することが可能です。	
小 児 科	4週以上	オリエンテーション	2週		
産婦人科	4週以上				
				※連携病院 甲状腺内科：野口病院（大分県） がん医療：四国がんセンター 救命救急：済生会千里病院 千里救命救急センター（大阪府） 全診療科：愛媛大学医学部附属病院、済生会今治病院、済生会西条病院	

● 募集要項

【予定人数】7名
 【応募締切】第1回面接 締切 令和5年7月27日
 第2回面接 締切 令和5年8月14日
 第3回面接 締切 令和5年8月25日
 【選考試験】第1回 令和5年8月 4日（金）
 第2回 令和5年8月21日（月）
 第3回 令和5年9月 2日（土）
 【応募書類】①履歴書（指定様式なし）②卒業（見込み）証明書
 ③成績証明書 ④臨床研修申込書（指定様式はホームページからダウンロード）
 【研修手当】1年次：約508万円／年 2年次：約530万円／年
 ※賞与・手当別
 時間外手当：あり 宿日直手当：あり 通勤手当：あり
 住宅手当：あり 最大5万7千円/月まで補助

【学会等】あり ※その他欄参照
 【院内保育所】あり
 【休暇】日曜・祝祭日、第2、4、5土曜 夏季休暇3日、年末年始休暇有給休暇10日（2年目は11日）その他 特別休暇（結婚、喪服等）
 【保険】健康保険、厚生年金 雇用保険 労災保険
 医師賠償保険加入（個人加入：任意）
 【その他】研修医全員にiPad支給
 院外研修：往復旅費、宿舎代全額支給 ICLS全員受講（受講料、テキスト代、交通費は全額病院負担）
 自己研鑽のための学会参加、資格取得などの参加費・旅費：年2回まで支給

○研修医



2年次
 古殿 一樹
 (愛媛大学卒)

当院の魅力はオン・オフがはっきりした業務体制だと思います。8日に1回の救急日は研修医全員がファーストタッチに当たります。それ以外の日にはほぼ定時に帰宅し、自分の時間を過ごすことができます。指導医やメディカルスタッフの方々は優しい方ばかりで、研修医の疑問にすぐに答えてくれますし、多くの手技を経験することができます。種子島での地域医療や大阪での三次救急など、研修の選択肢が幅広いこともポイントです。



巡回診療船「済生丸」による離島検診

愛媛医療生活協同組合

愛媛生協病院

〒791-1102 松山市来住町1091-1
 【TEL】089-976-7001 【FAX】089-976-7029
<https://www.e-seikyo-hp.jp/index.php>

応募連絡先

担当部署：総務課 臨床研修センター 担当者：大西 美和
[✉ m-onishi@ehime-med.org](mailto:m-onishi@ehime-med.org)

暮らしとともに地域を支える医療を学ぶ

愛媛医療生活協同組合は2020年に70周年を迎え、組合員と共に事業運営に取り組んでいます。愛媛生協病院は88床の小病院ですが、内科・家庭医療科、外科、整形外科、小児科、精神科・心療内科の常勤医を有し、松山市の二次救急輪番病院として急性期医療も担いながら、こころと身体を総合的に診る医療を行っています。当院は、地域の組合員さんと共にまちづくりや健診活動・予防活動を行い、また多職種で医師養成にかかわっているところが他の病院にはない魅力です。2009年から卒後臨床研修評価機構の認定を受け、現在も複数名の初期研修医が地域に根差した医療・福祉活動を、学んでいます。地域とともに総合的に成長したいと望まれる方々の参加を期待します。

● 病院データ

 病床数	 医師数(研修医含む)	 初期研修医数	 指導医数	 外来患者数(1日平均)
88床	18人	3人	12人	273人
 入院患者数(1日平均)	 救急外来患者数(年間件数)	 救急車搬送患者数(年間件数)	 年間手術数	 病床稼働率
82人	4,193人	1,489人	457件	91%

【開設年】1986年
 【開設者】今村 高暢
 【院長】今村 高暢
 【標榜科】内科(消化器内科・循環器内科・呼吸器内科)
 外科・大腸肛門科／小児科・アレルギー科
 整形外科(リハビリテーション科・リウマチ科)
 精神科・診療内科



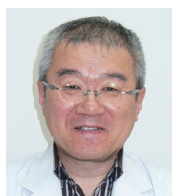
整形外科手術研修



小児科外来診察の様子

メッセージ

○院長



理事長・院長
 今村 高暢
 (愛媛大学卒)

愛媛生協病院は「患者の立場に立って親切でよい医療」「いつでもどこでも安心して、医療・福祉が受けられる」ことを目指しています。当院の総合基礎研修プログラムで育てたいのは、「医師としての基本的価値観と基本的な診療能力を備えた愛媛の医者」です。知識・技術・態度・情報収集力・総合的判断力を身に付け、よくある病気や外傷等にきちんと対応でき、研修修了後にはどの分野に進んでも通用できる医師を育てます。

○指導医・プログラム責任者



外科医長
 塚本 尚文
 (愛媛大学卒)

指導医・上級医のもとで「担当医」として、1つの科に偏らず研修できるすべての科で診療にあたる総合基礎研修を基盤にしています。患者さんの生活背景やライフスパンに沿った医療を病棟・外来等を通じて実際に体験し、地域での第一線医療機関の役割と機能を認識してもらいます。医師をはじめとした病院スタッフや地域の組合員さんの力をお借りして、基本的臨床能力と主治医機能と障害学習の基礎を身に付けられる研修をお約束します。

● プログラムの目的・特徴

目的

1. 当プログラムは、研修の導入時期は内科病棟における総合診療方式での研修から開始し、担当した症例を通して、問題解決能力や主治医機能を身につけることを重視する。患者が抱える問題を、身体的・心理的にはもちろん、生活や社会背景をも含めて受け止める事ができる力を養う。
2. 一般診療においては、頻繁に関わる疾病または負傷に適切に対応できる基本的な診療能力(知識・技術・態度・情報収集力・総合的判断力)を身につける。
3. チームスタッフや地域住民と共に、健康で暮らしやすいまちづくりに取り組んでいる。プライマリヘルスケア医を養成する。
4. 院内の全職員が研修の成功へ向けて、積極的に関わり、責任を持って到達目標を達成する。

特徴

心強い3つのサポート

- ①**研修医の希望へサポート!** 研修医の意見に積極的に耳を傾け、一緒に研修スケジュールを考えます。手技や症例など、2年間でプログラムが修了できるよう責任を持って対応します。研修修了後の進路は本人が自由に選択・決定できます。
- ②**重層的な体制で研修をサポート!** 指導医と完全マンツーマンの指導体制で、しっかりとした研修を受けることができます。医局はひとつで全科共有です。各科・指導医間の垣根は低く、いつでも相談できる環境です。多職種との距離も近く、全職員が指導者として研修に関わります。
- ③**協力型病院・施設が研修をサポート!** 診療所から大学病院までの幅広いフィールドがあり、すべての病院・施設での研修の体制が整っています。研修先での宿泊費は院所が負担します。

● 研修スケジュール

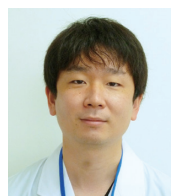
1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	オリエンテーション	内科				救急		整形外科		小児科	小児科（外部）	精神科（院外含む）
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	外科	内科	産婦人科（院外）	地域医療研修（院外）		外科（院外）		選択科				救急

必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内科	24週以上	地域医療	8(〜4)週以上
救急	12週以上	精神科	8(〜4)週以上
外科	8週以上	整形外科	8(〜4)週以上
小児科	8(〜4)週以上		
産婦人科	8(〜4)週以上		
◇整形外科研修 愛媛生協病院の整形外科では外傷からスポーツ障害、骨粗鬆症、慢性疾患など、指導医が極めた専門分野を持っており、基本的な整形外科の手技が習得できます。手術は外傷や変性疾患など多岐にわたり、2022年度は約460件の手術を行いました。指導医とのカンファレンスを通じ、疾患の学習、治療方針の決定に関わり、多くの手技を経験します。高齢者の骨折も多く、退院後の生活背景を考慮した経験ができます。 ◇外来研修 内科外来・小児科外来で研修し、プライマリ・ケア区に必要な一般外来における知識・技術・態度が習得できます。主に初診患者の診察を行い、多くのcommon diseaseを経験できます。また、継続して外来を行うことで、慢性疾患患者の継続診察や担当患者の退院後の外来診察が経験できます。			

● 募集要項

【予定人数】	3名	【休 暇】	日曜・祝祭日、4週6休
【応募締切】	2023年8月		夏季休暇(8/15)、リフレッシュ休暇3日、年末年始休暇あり
【選考試験】	2023年8月中旬		有給休暇10日(採用3ヶ月経過後)
【応募書類】	①履歴書 ②卒業(見込み)証明書 ③成績証明書 ④小論文		その他生理休暇、慶弔休暇、育児休暇、介護休暇
【研修手当】	1年次: 約510万円/年 2年次: 約580万円/年 時間外手当: あり、宿日直手当: あり、 通勤手当: あり、家族手当: あり 住宅手当: 13,000円/月	【保 険】	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険 医師賠償保険
【学 会 等】	年2回旅費支給あり(発表ありは別)	【そ の 他】	医療費還付制度 メディカルフィットネス職員割引
【宿 舎】	なし		
【院内保育所】	あり		

○研修医



2年次
 松木 拡記
 (愛媛大学卒)

当院の初期研修の特徴は①一つの診療科の研修期間が長い、②総合的な診療能力が身に付く2点です。一つの診療科の研修期間が短い場合、充分理解できず次の診療科に進むことも多いですが、当院なら時間をかけた指導のもと手技や現場での臨床判断能力が身につくのが実感できます。また個人の臨床能力に応じた指導が受けられます。
 当院は病床数が少ないため、経験症例数が少ないのでは心配と思いますが、外来や救急初療の時間が多めにあり十分な症例経験ができます。また初診患者が多く一般的な疾患に対する総合的な診療能力が十分身に付きます。指導医も教えるのが好きで病院内の雰囲気も良く、のびのびと研修ができるとしています。

愛媛医療生活協同組合は健康づくりの生協です。「いのちと健康を守りたい」「平和で暮らしやすいまちをつくりたい」という願いをもった人々が、組合員となり地域での活動に取り組んでいます。地域で健康づくりを行なっている組合員と共に活動を通して“地域”や“生活”を知ること、住民一人ひとりの想いや地域に求められている医療を捉える視点を養い、考える力を身に付けることが出来ます。さらに、地域に出向いて行う健康講話や組合員との会話の中で、医学知識の整理や伝え方の学びにもつながります。

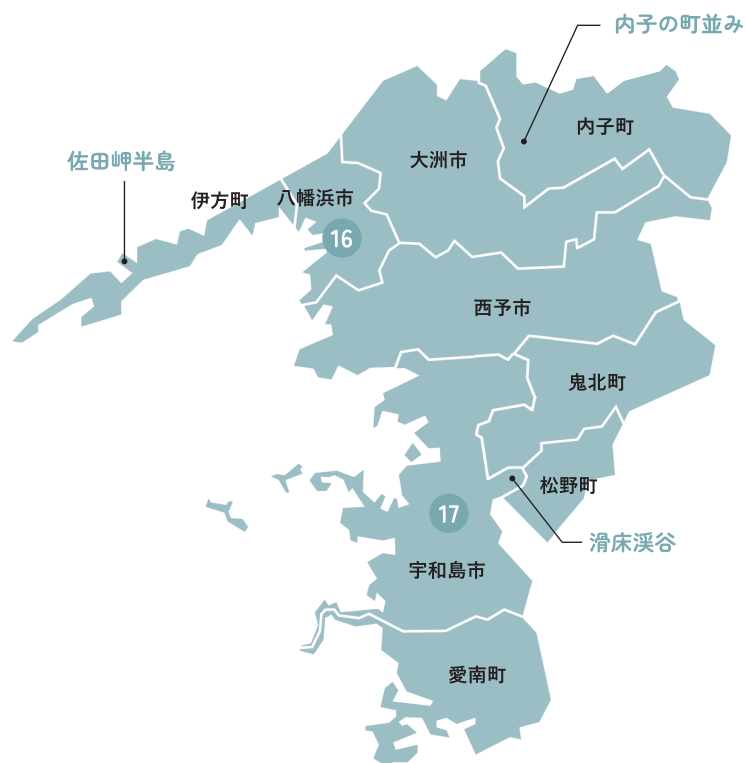


エリア 03 | 南予地区

愛媛県南西部に位置し、^{うわじま}宇和島市、^{やわたはま}八幡浜市、^{おおず}大洲市、^{せいよ}西予市、^{うちこ}内子町、^{いかた}伊方町、^{きほく}松野町、^{あいなん}鬼北町、^{あいなん}愛南町の9市町からなる地域です。

海、山、川の自然に恵まれ、農林漁業が盛んです。日本一細長い佐田岬半島から南にリアス式海岸が形成され、内陸部には緑深い四国山地が広がっており、豊かな自然が残されています。温暖な気候に恵まれたリアス式海岸では、生産量日本一を誇るマダイやシマアジ、真珠などが養殖されているほか、日本農業遺産に認定された「愛媛・南予の柑橘 かんきつ農業システム」の急傾斜地段々畑があり、壮大な景観とともに日本一の“柑橘王国・愛媛”の屋台骨を担っています。

宇和島城や内子、大洲、宇和の古い町並みなど、歴史文化遺産も多く、佐田岬半島や、滑床や成川の渓谷など多様な自然環境を有しています。



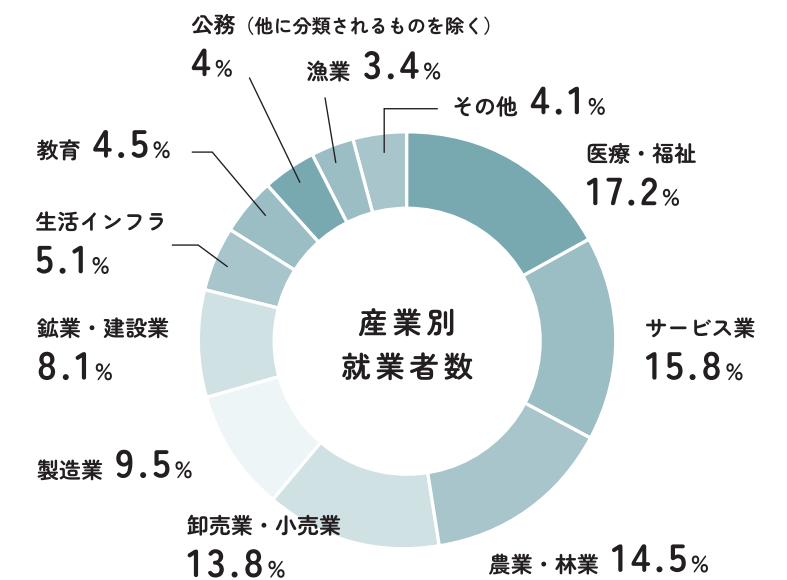
HOSPITAL MAP

南予地区内医療機関一覧

- 16 市立八幡浜総合病院
- 17 市立宇和島病院

南予地区ってどんなところ？

- 構成市町：宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町
- 人口：235,498人
宇和島市 70,820人、八幡浜市 31,995人、大洲市 40,566人、西予市 35,411人、内子町 15,333人、伊方町 8,401人、松野町 3,681人、鬼北町9,685人、愛南町 19,606人
- 世帯数：103,850世帯
宇和島市 31,379世帯、八幡浜市 14,413世帯、大洲市 17,442世帯、西予市 15,447世帯、内子町 6,258世帯、伊方町 4,076世帯、松野町 1,603世帯、鬼北町 4,345世帯、愛南町 8,887世帯



※令和2年国勢調査のデータを利用しています。

南予地区おすすめスポット



内子の町並み

内子町は江戸時代後期から明治時代にかけて木蠟(もくろう)の生産によって栄えた町。その面影が今も色濃く残った町並みはどこか懐かしく、一歩進むごとに時が遡るようで、タイムスリップしたかのような感覚に。建物の浅黄色の土壁には地元の土が使われています。



滑床溪谷

四万十川の支流である目黒川の上流に広がる全長12kmの大渓谷。侵食によって洗い清められた花崗岩の滑らかな河床が特徴です。日本の滝百選に選ばれた「雪輪の滝」や千畳敷など見どころ満載。紅葉の名所としても名高く、辺り一面が赤や黄に染まります。



佐田岬半島

四国最西端、東西約40kmに渡って伸びる日本一細長い半島。岬の先端に立つ白亜の灯台から、天気の良い日は九州が遠望できます。巨大な風車に見守られながら「佐田岬メロディー道路」を走行すると、童謡「みかんの花咲く丘」が流れます。

市立八幡浜総合病院

〒796-8502 愛媛県八幡浜市大平1番耕地638番地
 【TEL】0894-22-3211 【FAX】0894-24-2563
<https://yawatahama-cgh.jp>

応募連絡先

担当部署：事務局 担当者：事務局次長 菊池 二郎
 ☞ kikuti-jirou@city.yawatahama.ehime.jp

八幡浜・西宇和郡の中核病院！

市立八幡浜総合病院は、昭和3年11月に開設され、以来90年以上にわたり、八幡浜・西宇和郡の中核病院として、また地域住民の方々に身近な病院として医療を提供してきました。近年においては、八幡浜・大洲医療圏域の中核病院として、救急医療を含めた高度急性期医療を行いつつ、全国レベルの医療の質を保ち、可能な限り当院で完結できる医療を目指しています。平成29年3月に新病院が完成し、効率的な医療の提供が可能となりました。

● 病院データ

 256床	 25人	 0人	 6人	 363人
 129人	 2,874人	 1,590人	 852件	 60%

【開設年】 昭和3年
 【開設者】 八幡浜市長 大城 一郎
 【院長】 大藏 隆文
 【標榜科】 内科／呼吸器科／消化器科／循環器科／小児科／外科
 整形外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科
 眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科
 歯科口腔外科／麻酔科



手術風景（外科）



手術風景（整形外科）



「JR八幡浜駅」より 市内バス 市立病院行き 15分
 「JR八幡浜駅」より タクシー 5分
 「八幡浜港」から 徒歩15分



● プログラムの目的・特徴

目的

当院の研修プログラムは平成31年度からの制度改革に伴い、必修科目を除き研修医の選択自由を極力尊重し、研修医と協議しながらプログラムを作成しています。

特徴

当院は、八幡浜市・西宇和郡で唯一高度な先進医療機器を備えた中核病院であり、地域の外来、入院、救急患者の大半を受け入れ、一般診療から一次、二次救急にも対応しています。愛媛大学医学部附属病院や地域の病院、診療所などの協力体制により幅の広い充実した研修が可能です。研修医は各学年2名までですので、初期研修医にとっては充分多彩な症例を経験することができます。特に救急対応では研修科の指導医だけでなく他科医師の指導も気楽に受けることができる環境です。ぜひ当院でプライマリケアに必要な知識・技術をしっかりと身につけていただきたいと思います。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急科		精神科	産婦人科	小児科	外科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療			選択科								

必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内科	24週以上	地域医療	4週以上
救急	12週以上	精神科	4週以上
外科	4週以上		
小児科	4週以上		
産婦人科	4週以上		

整形外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、地域保健など
 ＊1 上表プログラムは、研修期間を示したものであり、研修時期と異なる場合がある。
 ＊2 精神科は「八幡浜医師会立双岩病院」で実施する。
 ＊3 地域医療については、「八幡浜医師会立双岩病院」「六井診療所」「大島診療所」の3施設から選択し、4週間履修する。
 ＊4 一般外来の研修は、内科・外科・小児科・地域医療のいずれかで実施する。
 ＊5 当院での研修期間「最低52週」とする。

● 募集要項

【予定人数】 2名 【応募締切】 令和5年8月下旬 【選考試験】 令和5年8月下旬 面接により選考 【応募書類】 ①申込書 ②履歴書 ③卒業証書又は卒業見込証書 ④成績証明書 【研修手当】 1年次：約500万円／年 2年次：約560万円／年 ※賞与込、手当別 時間外手当：あり 宿日直手当：41,000円～66,000円／回 通勤手当：原則、医師住宅に入居 住宅手当：あり	【学 会 等】 年30万円まで参加費・旅費支給あり 【宿 舎】 医師住宅に入居可能（研修医は無料） 【院内保育所】 なし 【休 暇】 土曜・日曜・祝祭日 夏季休暇3日／年末年始休暇あり 有給休暇12日 その他特別休暇等 【保 険】 健康保険／厚生年金 雇用保険 労災保険 医師賠償保険：病院において加入（個人加入：任意） 【そ の 他】
---	---

メッセージ

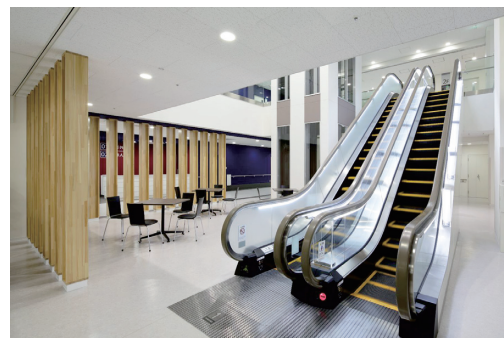
○院長

当院は平成24年9月に改築事業に着手し平成29年3月に完了し新しくなりました。現在、一般病床254床、感染病床2床、17の診療科を有する八幡浜・西宇和郡の中核病院です。専門医の指導のもとに多くの症例を経験したい初期及び専攻医研修の先生にとっては、理想的な環境が準備されています。一度、当院に見学に来てください。大病院とは異なる、より実臨床に即した診療経験が可能です。すべてのスタッフが先生方のご訪問をお待ちしております。

院長 プログラム責任者 大藏 隆文（愛媛大学卒）

○研修医（専攻医）

市立八幡浜総合病院での2年間の研修を終えて、とても充実した毎日過ごすことができたと思います。一般内科・循環器内科の先生方のご指導のもと、内科一般領域を幅広く経験することができ、また、専門としたい糖尿病・内分泌代謝の領域では専門の先生のご指導のもと、学会発表やカンファレンスでの症例検討を通し、深く学ぶことができました。メディカルスタッフ、事務の皆様も研修に非常に協力的で、多くを学びながら楽しく研修を終えることができました。



旧病院の老朽化が進み、増改築の繰り返しで、不便な構造となっていました。平成24年9月から長年の懸案事項であった全面改築工事に着手し、平成29年3月に完成しました。



屋上に設置したヘリポートは、平成29年2月以来、月平均1～2回の頻度でドクターヘリによる転院搬送で使用しています。今後も活用が期待されます。

市立宇和島病院

〒798-8510 愛媛県宇和島市御殿町1番1号
【TEL】0895-25-1111 【FAX】0895-25-5334
https://www.uwajima-mh.jp

応募連絡先

担当部署：総務管理課 臨床研修係 担当者：課長補佐兼臨床研修係長 笠松 美和
✉ rinsho-hp@city.uwajima.lg.jp

初期研修医が対応する症例数は多彩かつ豊富

当院は、愛媛県南予地域の拠点病院としての役割に加え「南予救命救急センター(併設)」や「災害拠点病院」、「地域がん診療連携拠点病院」としての役割も担っています。当院の医療圏は、本来であれば「宇和島医療圏」ですが、同県の「八幡浜・大洲医療圏」や高知県の「幡多医療圏」の一部からも救急患者が搬送されるなど、当院がカバーする医療圏は広域にわたっているため、研修医が対応する症例数は多彩かつ豊富な状況です。また、ヘリポートや免震構造を設置するなど、災害拠点病院として応じし機能を備えています。

● 病院データ

 病床数 435床	 医師数(研修医含む) 102人	 初期研修医数 12人	 指導医数 36人	 外来患者数(1日平均) 798人
 入院患者数(1日平均) 331人	 救急外来患者数(年間件数) 10,634人	 救急車搬送患者数(年間件数) 3,185人	 年間病理解剖数 4件	 病床稼働率 76%

【開設年】 明治43年
【開設者】 宇和島市長 岡原 文彰
【院長】 善家 喜一郎
【標榜科】 内科／消化器内科／胃腸内科／肝臓内科／循環器内科／呼吸器内科
血液内科／糖尿病内科／内分泌内科／脳神経内科／外科／消化器外科
心臓血管外科／呼吸器外科／肝臓・胆のう・膵臓外科／乳腺外科
肛門外科／整形外科／リウマチ外科／脳神経外科／脳・血管外科／小児科
産婦人科／眼科／耳鼻いんこう科／頭頸部外科／皮膚科／形成外科
泌尿器科／歯科口腔外科／麻酔科／放射線科／臨床検査科
病理診断科／リハビリテーション科



英会話研修



研修医集合写真

メッセージ

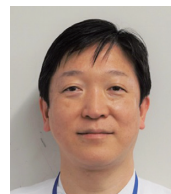
○院長



院長
善家 喜一郎
(愛媛大学卒)

内科系、外科系、ICUの3列で、医師全員の協力の下、24時間365日体制、かつ一次救急から三次救急まですべてに対応しているため、多彩な疾患を経験できます。また、当院の長い歴史と医療に対する姿勢が地域住民に受け入れられていることから、研修医も一人の医師として受け入れてもらっています。当院で初期研修を終えた先生の多くが全国各地の病院で活躍しています。まず、当院を見学してみませんか。

○指導医・プログラム責任者



副院長兼内科統括科長兼
アカデミックセンター長
大木元 明義
(愛媛大学卒)

当院は、南予救命救急センターを併設する南予の基幹病院で、24時間・365日体制で高度専門医療に対応し、初期研修でほとんどの症例に携わることができます。2020年度から開始された新研修プログラムでは、必修の各診療科で専門領域特有の疾患をそれぞれ経験し、救急疾患は当番制の日勤救急及びシフト制の夜間救急で一次から三次救急まで相当数の経験ができます。指導体制も国内外の主要研究機関・病院に留学経験のある指導医が多く、国際的感覚・視野をもった医師の育成にも力を入れており、また、患者さんを全体的に診ることができる医師を育てたいと考えています。皆さん、当院で新しい令和の時代とともに研修を始めてみませんか。

● プログラムの目的・特徴

目的

幅広いコンディジーズ、プライマリ・ケアに対応し得る基本的な知識及び技術の修得に加え、当院の特徴である救急救命医療及び地域医療支援という急性期疾患の初期治療を確実に実行できる知識と技術を修得する。

特徴

「専門領域に進んだ後も患者をトータルに診ることのできる医師を育てる」という研修の基本理念のもと、指導医も日々研鑽を積みながら研修医の指導を行っています。基幹型定員も1年間に6名までとしており、1年次にはできるだけ多くの症例を経験させるため、内科及び内科救急の研修で、上級医・指導医のバックアップを受けながら救急患者のファーストタッチを研修医が行うことで、多くの症例を学びます。また、2020年度から初期臨床研修制度が改正されたことに伴い、外科、小児科、産婦人科といった必修科目以外にも麻酔科を必修とするなど、救急部門の研修も充実しています。実践だけではなく、各種学会への積極的な参加や定期的な院内研修会や講義も行っており、「M&Mセミナー」、「英文抄読会」、「救命救急カンファレンス」、「心電図カンファレンス」、「レジデントノート勉強会」など、多くの研修会を設けているため、研修医にとっては、各科の指導医や上級医と質疑応答を重ねることで、短期間での知識向上に繋がっています。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科							外科	小児科	産婦人科	精神科	麻酔科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	選択科		地域医療		選択科							

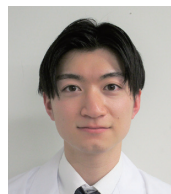
必修分野	その他の分野及び選択研修など		
内 科	24～32週	地域医療	5週以上
救 急	2週以上	精 神 科	4週以上
外 科	4週以上	麻 酔 科	4週以上
小 児 科	4週以上		
産婦人科	4週以上		
【市立宇和島病院】 整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、放射線科、耳鼻いんこう科、臨床検査科、病理診断科 【外部医療機関（愛媛大学医学部附属病院）】 内科、救急科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、眼科、形成外科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、総合診療科、臨床検査科			

● 募集要項

【予定人数】 6名
【応募締切】 1回目：令和5年7月21日(金) 2回目：令和5年8月10日(木)
【選考試験】 1回目：令和5年8月6日(日) 2回目：令和5年8月26日(土)
【応募書類】 ①採用申込書 ②履歴書 ③卒業(見込)証明書、成績証明書
④健康診断書
【研修手当】 1年次：約460万円／年 2年次：約540万円／年
※賞与込、手当別
時間外手当：あり
宿日直手当：当院規程により支給あり
通勤手当：当院規程により支給あり
住宅手当：上限4万円

【学 会 等】 上限22万円／年の旅費等の支援あり
【宿 舎】 なし
【院内保育所】 あり
【休 暇】 土曜日・日曜日・祝祭日 夏季休暇3日、年末年始休暇あり
年次有給休暇12日／年(次年度繰越あり)
その他特別休暇あり
【保 険】 健康保険、厚生年金 雇用保険 労災保険
医師賠償保険(個人加入：任意)など
【そ の 他】 賞与：年2回支給 1年次40万円／年、2年次60万円／年

○研修医

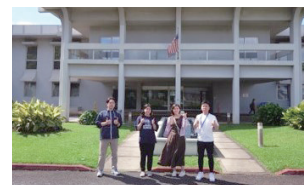


2年次
藤尾 公貴
(愛媛大学卒)

何もわからない状態から始まった研修医生活でしたが、今では事務的な仕事には慣れてきました。しかし、日常診療への不勉強さを痛感する毎日を送っております。私は学生時代から内科志望であり、救急をしっかり勉強しておきたいという思いで当院を選びました。おそらく同期の中でも最も救急日当直に入ったのではないのでしょうか。そのおかげか、救急で焦ることはありませんになりました。先日大学時代の同期と会う機会がありましたが、関西圏の同期に劣っているとは全く思いませんでした。田舎である当院ですが、自分のやる気次第でいくらでもハイパーに(健康第一)することは可能です。1年経った今、当院を選んだ後悔は全くないです。

【ハワイ (HULA) 研修】

宇和島市の姉妹都市であるホノルル市との国際交流事業として、ハワイ大学医学部 (John A. Burns School of Medicine) と提携し、Honolulu and Uwajima medical Learning Alliance (HULA) 研修として2020年2月に2年目の基幹型研修医全員を2週間ホノルルに派遣(費用は病院負担)しました。2023年2月にはCOVID-19のため休止していたHULA研修を再開しています。研修内容は、救急医療シミュレーショントレーニング、医療倫理、教育方法などの研修とKuakini医療センターの見学、ハワイ大学の学生・医師との交流です。



臨床研修病院(問い合わせ先)一覧

令和5年4月現在

地区	病院名	所在地	お問い合わせ先	掲載ページ
東予地区	社会医療法人 石川記念会 H I T O病院	〒799-0121 四国中央市上分町788番地1	[臨床研修センター 担当：鈴木] TEL. 0896-59-6380 E-mail. info-biz@hito-medical.jp	11
	独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛労災病院	〒792-8550 新居浜市南小松原町13番27号	[総務課 担当：野中] TEL. 0897-33-6191 E-mail. shomuka@ehimeh.johas.go.jp	13
	一般財団法人 積善会 十全総合病院	792-8586 新居浜市北新町1番5号	[総務課 担当：矢野] TEL. 0897-33-1818 E-mail. jyuzen@jyuzen.jp	15
	医療法人 住友別子病院	792-8543 新居浜市王子町3番1号	[臨床研修センター 担当：三崎] TEL. 0897-37-7111 E-mail. hiroshi_misaki@ni.sbh.gr.jp	17
	医療法人 専心会 西条市立周桑病院	〒799-1341 西条市壬生川131	[総務課 担当：鎌田] TEL. 0898-64-2630 E-mail. somu@shuso-hospital.jp	19
	社会医療法人 同心会 西条中央病院	〒793-0027 西条市朔日市804番地	[臨床研修管理室 担当：眞鍋] TEL. 0897-56-0300 E-mail. kenshu@saijo-c-hospital.jp	21
	社会福祉法人 済生会西条病院	〒793-0027 愛媛県西条市朔日市269-1	[医療秘書課 担当：高岡] TEL. 0897-55-5100 E-mail. saiyo-rin@saiseikaisaijo.jp	23
	社会福祉法人 済生会今治病院	〒799-1592 今治市喜田村7丁目1番6号	[臨床研修センター 担当：秋山・日野] TEL. 0898-47-2500 E-mail. resident@imabari.saiseikai.or.jp	25
中予地区	愛媛県立今治病院	〒794-0006 今治市石井町4丁目5-5	[総務課 担当：佐伯・坂本] TEL. 0898-32-7111 E-mail. imabari-byoin@pref.ehime.jp	27
	愛媛大学医学部附属病院	〒791-0295 東温市志津川	[総務課 臨床研修チーム 担当：山根] TEL. 089-960-5098 E-mail. kenshu@m.ehime-u.ac.jp	31
	日本赤十字社 松山赤十字病院	〒790-8524 松山市文京町1番地	[人事課 教育研修推進室 担当：酒井] TEL. 089-924-1111 E-mail. kenshu@matsuyama.jrc.or.jp	33
	愛媛県立中央病院	〒790-0024 松山市春日町83番地	[総務医事課 職員係 担当：兵頭] TEL. 089-947-1111 E-mail. c-kensyu@eph.pref.ehime.jp	35
	一般財団法人 永頼会 松山市民病院	〒790-0067 松山市大手町2丁目6-5	[臨床研修室 担当：高内] TEL. 089-943-1151 E-mail. ikyoku3b@matsuyama-shimin-hsp.or.jp	37
	社会福祉法人 済生会松山病院	〒791-8026 松山市山西町880番地2	[臨床研修センター事務局 担当：北川、長谷川] TEL. 089-951-6111 E-mail. rinsyokensyu@matsuyama.saiseikai.or.jp	39
	愛媛医療生活協同組合 愛媛生協病院	〒791-1102 松山市来住町1091-1	[臨床研修センター 担当：大西] TEL. 089-976-7001 E-mail. m-onishi@ehime-med.org	41
南予地区	市立八幡浜総合病院	〒796-8502 八幡浜市大平1番耕地638番地	[事務局 担当：菊池] TEL. 0894-22-3211 E-mail. kikuti-jirou@city.yawatahama.ehime.jp	45
	市立宇和島病院	〒798-8510 宇和島市御殿町1番1号	[総務管理課 臨床研修係 担当：笠松] TEL. 0895-25-1111 E-mail. rinsho-hp@city.uwajima.lg.jp	47



愛媛県の
医師確保の取組みを紹介します。

- ◆自治医科大学卒業医師の配置及びキャリア形成支援
自治医科大学を卒業した医師を、へき地診療所などに配置し、地域医療の最前線で活躍いただいています。
また、自治医科大学卒業医師のキャリア形成支援に努め、義務年限終了後の県内定着を図ります。
- ◆プラチナドクターバンク事業(R2年度～)
県内外の医療機関を退職(退官)する医師を主なターゲットとし、愛媛県医師会、愛媛大学等と緊密に連携して、医師不足地域等の医療機関とのマッチングを図ります。
- ◆ドクターバンク事業(H19年度～)
県庁内に設置した医師無料職業紹介所の運営のほか、登録いただいた医師や医学生の皆様へ県の施策など地域医療に関する情報の提供などを行っています。
- ◆ドクタープール制度(H19年度～)
医師を県職員として採用し、市町立病院に配置又は派遣します。
- ◆各種奨学金制度(H18年度～)
 - へき地医療医師確保奨学金制度(H18年度～H20年度)※新規募集終了
 - 地域医療医師確保奨学金制度(H21年度～)
大学医学部入学定員の増に連動した制度で、知事が指定する医師確保が必要な医療機関で9年間診療に従事した場合、貸与額が全額返還免除となります。
 - 地域医療医師確保短期奨学金制度(H21年度～)
医学部3～6年生(全国大学)、臨床研修医及び専攻医の皆様を対象に、貸与期間(2～4年)と同期間を指定医療機関で勤務いただいた場合、返還を全額免除するものです。
また、令和2年度からは特別診療科枠(産科)を新たに創設し、県内で特に不足する産科医師の更なる確保を図ります。
- ◆地域医療実習の実施(H19年度～)
医学生の夏休み期間を活用した滞在型の医療実習を実施しています。
例年8月中旬に、県内の診療所又は病院において、1日から5日間で実施しています。
- ◆医学生に対する臨床研修病院合同説明会の実施(H19年度～)
例年3月に、県内臨床研修病院の研修プログラム等の合同説明会を、愛媛大学との共催により開催するほか、民間の臨床研修病院合同説明会に参加しています。
- ◆寄附講座の設置
 - 地域医療学講座の設置(H21.1設置)※愛媛大学
愛媛大学に県からの寄附による「地域医療学講座」を設置し、地域の医療環境の充実、医療レベルの向上等を図るための研究や実習教育を行っています。
また、令和2年度からは、地域医療学講座の活動拠点となる地域サテライトセンターに、県立南宇和病院を追加設置し、同病院で実習や研修を行うための環境整備を行います。
 - 地域小児・周産期医療学講座の設置(H27.4設置)※愛媛大学
医師不足が顕著な小児・周産期における医療提供体制の研究等を通して、小児・周産期医療の確保を図っています。
 - 地域医療人材育成分野(講座)の設置(H27.2～H31.3)※徳島大学
医師・看護師を含む一体的な医療人材の育成プログラムの研究や実習等の実施により、地域に必要な人材確保を図りました。
現在は関係市町等が引き継いでいます。
 - 地域医療再生学講座及び地域救急医療学講座(H22.4～H28.3)※愛媛大学
宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域における医療提供体制の研究等を通して地域医療を担う人材を養成し、医療提供体制の維持を図りました。現在は関係市町が引き継いでいます。
- ◆女性医師等就労支援事業
再就業や出産、育児等に不安を抱える女性医師等に対する相談窓口を、愛媛県医師会に委託設置しています。
- ◆医師育成キャリア支援事業
愛媛大学に地域医療支援センターを設置し、地域医療に従事しながら専門医資格を取得するなどのキャリア形成支援等を行い、医師の県内定着を図っています。